

第31回「エコメッセちば」開催のお知らせ

2026年10月10日(土) オンライン開催【エコメッセHP】
11日(日) 会場開催【幕張メッセ国際会議場】

募集要項など詳細は、2026年4月に発表予定です。



協賛

BSC実行委員会
(株)テクノリライブ
生活協同組合コープみらい
CO-OP コープみらい
千葉県生活協同組合連合会
千葉県生活協同組合連合会
(株)京葉銀行
京葉銀行
(株)千葉銀行
ちばぎん
(株)千葉興業銀行
ちば興銀
(一社)千葉県経済協議会
(一社)千葉県環境保全協議会
KanHoKyo
(一社)千葉県産業資源循環協会
NPO法人もったねえいちはら
三番瀬写真展実行委員会

後援

環境省関東地方環境事務所
千葉県教育庁
千葉市教育委員会
(株)幕張メッセ
幕張新都心まちづくり協議会
千葉商工会議所
(一社)千葉県商工会議所連合会
千葉日報社
(公社)千葉市観光協会
朝日新聞社千葉総局
市原商工会議所
千葉県商工会連合会
毎日新聞社千葉支局
読売新聞千葉支局
東京新聞千葉支局
日本経済新聞社千葉支局
時事通信社千葉支局
共同通信社千葉支局
(株)パイエフエム
千葉県ケーブルテレビ協議会
日刊工業新聞社千葉支局
JICA東京
産経新聞社千葉総局
ESD活動支援センター

実行委員名簿		
委員長	桑波田 和子	(特非)環境パートナーシップちば 代表理事
副委員長	石田 涼	千葉県 環境生活部 循環型社会推進課 課長
副委員長	入江 信明	(一財)千葉県環境財団 理事長
副委員長	近澤 隆博	千葉市 環境局 環境保全部 脱炭素推進課 課長
副委員長	大木 実	(一社)千葉県経済協議会 専務理事
会計監査	半田 徹也	(一社)千葉県産業資源循環協会 専務理事
会計監査	大西 裕子	(株)千葉興業銀行 お客様サービス部 部長
企画部	吉田 謙二	スマートビーンズ(株)
企画部	石田 昴久	NPO法人 森林デザイン研究所
企画部	福満 美代子	NPO法人 ちば環境情報センター
企画部	土谷 悠太	(特非)環境パートナーシップちば
企画部	島田 琉太郎	千葉商科大学
企画部	中村 拓雅	学生団体おりがみ
企画部	清水 凜	学生団体おりがみ
企画部	櫻井 里奈	学生団体おりがみ
企画部	畠山 結衣	学生団体おりがみ
企画部	岩澤 真理子	学生団体おりがみ
企画部	前寺 美玖	学生団体おりがみ
企画部	立石 楠人	学生団体おりがみ
企画部	田中 優衣	学生団体おりがみ
企画部	飯窪 善仁	学生団体おりがみ
広報部	KOUSAKU	まるごみJAPAN
広報部	大山 允	千葉市 環境局 環境保全部 脱炭素推進課
広報部	斎藤 清	フィールドミュージアム・三番瀬の会
広報部	谷合 哲行	(株)テクノリライブ
広報部	高品 知史	生活協同組合コープみらい
広報部	佐々木 真司	(一社)千葉県環境保全協議会
広報部	末吉 雅樹	市原市 環境部 環境管理課 地球温暖化対策係
事務局	宮下 朝光	認定NPO法人 太陽光発電所ネットワーク千葉
事務局	横山 清美	(特非)環境パートナーシップちば
事務局	山口 幸一	(一財)千葉県環境財団
事務局	谷口 路代	(特非)環境パートナーシップちば
実行委員	橋本 正	NPO法人 環境カウンセラー千葉県協議会
実行委員	依光 道代	千葉県生活協同組合連合会
実行委員	久保田 隆志	まるごといんばぬまプロジェクト
実行委員	内山 真義	(特非)環境パートナーシップちば
実行委員	望月 靖子	(株)アイ・ティー・オー

第30回 エコメッセちば2025

つながれ ひろがれ エコメッセ 「千葉県最大の環境活動見本市」



2025年度 実施報告書 エコメッセちば30年のあゆみ

- 開催概要
- 実行委員会企画・協賛イベント
- 会場出展
- オンライン出展
- 出展者アンケート
- 来場者アンケート
- エコメッセちば30年のあゆみ



出典：国際連合広報センター

2026年2月
エコメッセちば実行委員会

エコメッセちば実行委員会 事務局

〒260-0024 千葉市中央区中央港 1-11-1
(一財)千葉県環境財団 業務部 環境活動支援課 気付
エコメッセちば実行委員会事務局

Tel: 080-5374-0019 Fax: 043-247-4152
mail: info@ecomesse.com



エコメッセちば2025

「エコメッセちば2025」は、令和7年度ちば環境再生基金「環境活動見本市」の助成を受けて実施しました。

<https://www.ecomesse.com>



実行委員会企画・協賛イベント

まわって、集めて、ゲットしよう BINGO パートナーシップビンゴ!!

ビンゴカードは、エコメッセにちばに来場された方が、カードを活用して、多くの出展団体のお話を聞き、体験などを通して、環境への気づき、やる気を持ち帰って欲しいと来場者等に配りました。

配布可能な枚数は600枚でしたので、家族に1枚、午前と午後に分けて配布しました。カードは2種類のビンゴに挑戦出来ます。SDGsカードは、各出展団体の掲示が頼りです。エコメッセ体験ビンゴは、屋外、国際会議室、202室や203室なども記載し体験してもらえました。

ビンゴは、各出展団体の方のお話を聞いてシールをもらう方式でした。1列でもビンゴは完成するのですが、全てに挑戦する方も多くありました。結果、出展団体者アンケートに「多くの来場者があり、良く聞いて頂いた」と感想がありました。

ビンゴの景品は、出展団体からご提供頂き全て配布させて頂きました。ビンゴ抽選会は、午前と午後の2回開催しました。抽選会参加資格は、ビンゴ大賞抽選表のアンケートに記載し投票箱に入れます。子どもから大人が見守る中、1位から3位まで決まりました。

今年は当選された方が抽選会場に不在で抽選会の回数が増えて、当選のチャンスが広がったかな?とは思っています。

抽選表のアンケートからも多くの出展団体での体験など活発だった様子が見えました。



ビンゴ景品ご提供団体さま

(順不同)

- ・有限会社エムエスイー
- ・きみつオーガニックマルシェ
- ・房総ガス協議会 環境部会
- ・千葉県地球温暖化防止活動推進センター/
千葉県地球温暖化防止活動推進員
- ・千葉県 脱炭素推進課
- ・(公財)日本生態系協会
- ・千葉大学 予防医学センター
- ・千葉大学 環境ISO学生委員会
- ・(株)千葉銀行
- ・(株)千葉興業銀行
- ・(一社)千葉県環境保全協議会
- ・千葉市消費生活センター
- ・日本大学 生産工学部 環境安全工学科
- ・千葉県 文化振興課
- ・PRIYO handicrafts
- ・SOFNY
- ・(特非)環境パートナーシップちば



ご協力
ありがとうございました



開催概要

第30回エコメッセちば2025 開催のお礼

いつも「エコメッセちば」へご出展、ご協賛、ご後援、ご来場、ご支援をいただき、ありがとうございます。今回は、30回の記念すべき開催となりました。これまで多くの皆さまに、ご支援いただいた賜と感謝しております。

おかげさまで、10月18日(土)オンライン開始、19日(日)幕張メッセ国際会議場で会場開催いたしました。会場には多くの親子、若者であふれ、出展団体との交流や体験など盛況でした。

開催の様子等を報告書にまとめましたのでご覧ください。また、「エコメッセ30年の歩み」も掲載しました。エコメッセ開催当初から目指した「持続可能な社会」。これからも「自分ごと」として行動するきっかけを「エコメッセちば」で提供していきたいと思えます。

オンライン出展団体の紹介及び団体インタビューは、「エコメッセちば2026」開催前日まで配信いたします。今後とも「エコメッセちば」をよろしくごお願い申し上げます。

エコメッセちば実行委員長 桑波田 和子

出展団体数・来場者数推移

	2015	2016	2017	2018	2019	2020 ^{*1}	2021 ^{*1}	2022 ^{*5}		2023 ^{*5}		2024 ^{*5}		2025 ^{*5}	
								会場出展	オンライン	会場出展	オンライン	会場出展	オンライン	会場出展	オンライン
出展団体数	112	100	96	111	113	60 ^{*2}	60 ^{*2}	50	33	65	20	67	12	93	10
出展ブース数 (実行委員会ブースは除く)	171	155	133	166	166	-	-	66	-	95	-	98	-	108	-
来場者数	12,000	8,500	8,000	9,000	10,500	10,828 ^{*3}	11,761 ^{*4}	1,219	7,033 ^{*6}	2,300	5,406 ^{*7}	4,500	7,692 ^{*8}	7,500	16,147 ^{*9}

*1 オンライン開催 *2 オンライン出展者数 *3 視聴者数(2020.12.31時点) *4 視聴者数(2022.1.31時点) *5 オンライン+会場開催 *6 視聴者数(2023.1.31時点) *7 視聴者数(2024.1.31時点) *8 視聴者数(2024.12.31時点) *9 視聴者数(2025.4~12)

食べて、飲んで、使って SDGsマルシェ

地産地消・オーガニック・環境配慮・フェアトレードなど、SDGsの趣旨に賛同してくれる企業や団体に出展を呼びかけ、昨年より2店増え9店が集まりました。

単にお店や団体の商品を知って購入してもらうだけでなく、企業や団体活動が持つ多様な目的やそれらがもたらす効果を、出店者自らが購入者に対して直接伝えることができるのがマルシェの良いところだと感じます。



☆蜂蜜はミツバチ1匹が生涯採ってくる蜜の量がスプーン1杯にも満たない事、季節の花が咲く時期に蜜を採ってくる事で味や風味が随分異なる事。

☆縄文時代の貝塚から大量に発掘されているイボキサゴが、現代では邪魔者扱いの未利用である事から、出汁に利用することで6次産品化、一部を福祉団体へ業務発注している事。

☆生産国の労働者に適正な対価を支払おうと行っているフェアトレードコーヒーの販売を通じて、空き家や空き地・有休スペースの有効活用、自立支援や就業支援にも繋がっている事。

☆無農薬綿花の栽培から作られた布製品が、洗剤なしでもきれいに洗えるクロスやタオルになり、肌に優しくアレルギー対策にも有効な事。

☆チークンイラスト入りの丈夫な米袋を利用してバッグなどを作成、特別支援学校での自立支援づくりの一環になっている事。

☆地産地消の農産物が、障がい者の雇用支援になっている事。

☆千葉県内には地産地消が可能な農産物・海産物が豊富にあるという事。

☆栽培に手間暇がかかるオーガニックな農産物から、環境にやさしくこどもでも安心して口にできる食品や料理・スイーツを提供しているお店や会社がある事。

それらを支える多様な企業や団体がある事を知ってもらえると嬉しいです。





ユース企画：学生団体おりがみ

今年のユース企画は、「もったいないものバスターズ～ようこそハロウィンフェスティバルへ～」をテーマに実施しました。

参加者は“おばけ退治”を行うバスターズになって複数の企画を巡りました。学生が運営する各企画を巡ってヒントを集め、謎解きやクイズを解いておばけを倒し、お菓子を獲得するという仕組みで、楽しみながら環境問題について学べるように工夫しました。



竹迷路企画は、地域で問題になっている放置竹林の竹を有効活用しようと、約100本の竹を使った迷路を制作しました。

支柱の固定方法や材料の確保には苦労しましたが、安全性と耐久性を確保するために試作を重ねました。

当日は子どもが竹にぶつかっても倒れることなく、迷路の途中で竹に関するクイズを取り入れたことで、楽しく学んできたかったです。



仮装体験企画では、ハロウィン要素と古着を組み合わせたワークショップを行いました。

株式会社ZOZO様の協力により、子どもたちは古着を活用したリボンや飾りを使ってリメイク体験を行うことで、古着が抱える環境問題について学ぶことができました。

当日は75名の子どもたちがこのリメイク体験に参加し、にぎやかな企画となりました。



ペットボトルキャップキーホルダー企画では、普段は捨ててしまうキャップにビーズやラメで装飾し、レジンで固めてキーホルダーを作る体験を行いました。

自分だけの作品を作れる楽しさから、子どもだけでなく大人の方にも人気で、身近なものをリユースする大切さを伝えることができました。



教育班企画は、千葉県を模したモニュメントに貼られたゴミを使ってハロウィンスノードームやキャンドル作りなどを行いました。

また、ゴミの分別ゲームを通して正しい分別方法について学んでいただき、「楽しかった」「分別が分かった」などの声が寄せられました。



クイズ企画は、受付で配布したクイズ用紙をもとに各企画を巡ってヒントを集める形式のクイズを制作しました。複数の短い答えを組み合わせる新しい言葉を作る構成で、企画に参加しないと解けない難しさもありましたが、形式を工夫したことで環境問題を楽しく伝えることができました。

シーグラス企画では、海岸に落ちているシーグラスを使いアート制作を体験していただきました。

シーグラスが持つ見た目の美しさに興味を持つ子どもが多かったのですが、実は捨てられたガラスのかけらであることを伝えることで、海洋ごみ問題やリサイクルへの関心を高める機会となりました。



国際班企画では、真っ白な骸骨に来場者の方が家庭ゴミを貼り付け、メキシコのカラフルな骸骨を作るワークショップを行いました。

メキシコのリサイクル率が日本より低いことなどを紹介し、ゴミから新しい作品を生み出す体験を提供しました。



7つもの企画を同時に運営するのは大変でしたが、整理券の電子化や家庭にある材料の活用など、学生自身も環境に配慮してイベントを実施するよう心がけました。また、多様な体験を通して、参加者の皆さまが楽しみながら環境を考えるきっかけを得られる企画になったと思います。

踏んで、つぶして、回収しよう
缶つぶし大会
積み上げチャレンジ

今回は、(一社)千葉県資源循環協会の有志にも協力して頂き、空き缶400個を用意して空き缶つぶし大会と空き缶タワー作りを行いました。

未就学児などではうまく缶を踏み潰せないで、それを想定して積み重ねるタワー作りも行う事にしました。シンプルに踏んだり積み重ねたりする事でも、意外と夢中になって楽しんでくれるんだと感心しました。

概ね好評でしたが、空き缶潰しでは空き缶を踏む回数、タワー作りでは積み上げる時間に特に制限を設けなかったため、若干滞留してしまう事があった事と、景品をもう少し多めに用意した方が良かったかな、というのは反省点です。

次回もやるのであれば、空き缶潰しは1回だけ、タワーは5分程度で交代するくらいが良いかと思います。





さわって、作って、遊ぼう
里山ワールド
～大草原とドングリの森～

子どもたちに、里山の楽しさを体験していただくため、ちば里山センターと森林デザイン研究所が連携して、森と草原をイメージした会場づくりを行いました。
会場は、**森のめぐみコンテスト**、**風船の大草原**、**ゲームセンター「ドングリ」**の3つのコーナーからなります。

里山ワールドでは、ドングリを通貨と見立てて遊びます。各コーナーの遊びは、ドングリ1個を支払うと参加できます。1個のドングリをコンテストや昆虫採集、ゲームコーナーでどんどん増やしていきます。最後にそのドングリで、いろいろな賞品を購入する仕組みになっていますので、子どもたちは真剣に取り組んでいました。



ゲームセンター「ドングリ」では、木の枝やクヌギのドングリなどを使った4種類のゲームに挑戦します。



国際会議室という、比較的大きめの空間を使えたので、子どもたちも身体を動かせ、楽しめたと思います。参加者が予想を大きく上回りましたが、ボランティアさんが見事に子どもたちに対応していただきました。途中、必要な物資が足りなくなり、宝探しなど一部の内容が変更となったのは残念でした。

見て、乗って、体験しよう
次世代自動車展示・試乗会



出展：千葉県温暖化対策推進課、千葉県オールトヨタ

会場の国際会議場入口前にて、次世代自動車（千葉県所有の燃料電池自動車MIRAI、千葉県オールトヨタ所有の電気自動車bZ4X）の展示を行い、会場ロータリーでは、千葉県オールトヨタのご協力のもと、来場者の方にMIRAI、bZ4Xを実際に運転いただき、幕張メッセの周りを走る試乗会を開催いたしました。

次世代自動車は、ガソリン車などと比べて、燃料消費量や地球温暖化の原因となる二酸化炭素（CO2）排出量が少ない環境に優しい車です。
環境に優しい車を身近に感じる機会を、これからも提供していきたいと思っております。



■参加者の声

試乗していただいた方からは、「加速が力強い」「とても静か」（MIRAI、bZ4X）や「走りが滑らか」（MIRAI、bZ4X）、「車高が高い分視線も高く、視界が広く運転しやすい」（bZ4X）というご意見をいただきました。



読んで、取って、学ぼう
環境かるた大会

主催：千葉市地球温暖化対策地域協議会

本イベントは、「自分や家族のみんなが環境を守るために広めていきたいことや目標」をかるたの読み句にし、その読み句を使ったかるたで遊ぶことで、参加者に楽しくごみ問題を考えていただき、継続的に環境に配慮した行動の実践に繋げることを目的に開催しました。

読み句については、市内小学校6校（令和7年度千葉市環境学習重点実施校）の児童に「あ行」から「は行」で始まる読み句を考案していただき、その中から選定された30句をかるた大会で活用しました。

当日は、選定句を考案した児童及びご家族に大勢ご来場いただき、会場からあふれんばかりの盛況ぶりでした。そして、そんな児童たちの応援に駆けつけてくれました県立千葉高等学校競技かるた部によるデモンストレーションでは、生で観る競技かるたに大きな歓声があがっていました。

また、「ま行」以降の読み句については、ベイエフエム「ハートラック」（パーソナリティ：DJ KOUSAKU）などで一般募集した句から選定された47句を掲示し投票を行いました。どの句も考案者の想いが込められていて、甲乙つけ難い様子でした。

午後にもたくさんの家族連れや友達同士でのご来場があり、延べ230名の方にかるたを通じてごみ問題への行動変容を促せたのは大きな成果だと感じました。



若者が主役の 見て、聞いて、投票しよう
環境保全活動アイデアコンテスト

主催：千葉県
受託事業者：(特非)環境パートナーシップちば

千葉県では、「千葉県環境学習等行動計画」において「ちばの未来を創る『行動する人づくり』」を目標に掲げており、環境活動をリードする若手人材の発掘・育成を図ることを目的に「若者が主役の環境保全活動アイデアコンテスト」を開催しました。

今年で3回目となるこのコンテストは、主に20代までの若者が主体となる団体が環境保全に関するアイデアを競うもので、優秀なアイデアには実際に活動することを条件に最大50万円の賞金を交付し、活動への支援を行うこととしています。

今年は、13団体の応募がありました。テーマは、温暖化防止、空き家対策、街づくり、環境と健康など分野がひろがり、千葉県の独自の課題などもありました。そのうち書類審査を通過した5団体によるプレゼンテーションがエコメッセちば2025で行われました。



- ★ K. LAB (ケイラボ)
「キョンの胃から作る、未来のペットサプリ革命」
- ★ 安房拓心サトウキビ組合
「サトウキビの栽培・有効活用～FARM TO FUTURE～ 子どもから大人まで地域で作る新たな産業」
- ★ ビーチバ
「海岸keep and clean 大作戦」

審査委員長を務めた東京都市大学大学院 佐藤真久教授は、優勝者K.LABのメッセージを引用し、「すべてのアイデアが、地球全体をハッピーにするアイデアだった。敬意を込めて応援していく」と講評されました。

令和8年2月28日(土)には、千葉県教育会館にて当コンテストの受賞者活動報告会を開催します。こちらも観覧いただき、活動する若者達への応援をよろしくをお願いします。



団体インタビュー

ユース企画: 学生団体おりがみ

エコメッセちば2025団体インタビューでは、成田国際空港株式会社様へ伺わせて頂きました。また、インタビューを元にショート動画を作成し、エコメッセちば公式YouTubeチャンネル、公式Instagram、公式Xへ投稿して若年層への情報発信を行いました。

成田国際空港様へインタビューを実施

インタビューは、成田国際空港内の見学とインタビューを組み合わせた形式で行いました。

空港内見学では、ランプセントラルタワーなど、様々な施設についてご案内していただきました。説明を通じて、空港運営を支える施設の役割や機能を具体的に理解することができたため、非常に貴重な学びの機会となりました。

また、リサイクルプラントの見学では、滑走路工事などで発生した砂利やコンクリート廃材を機械で処理し、新しい資材として再利用していることを知り、サステナビリティを重視した運営を実際に感じることができました。

インタビューでは、成田国際空港の将来的目標、脱炭素化の取り組み、資源循環の取り組みについて伺いました。特に印象に残ったインタビューは脱炭素化の取り組みについてです。

脱炭素化の取り組みとして、持続可能な航空燃料であるSAFの導入を積極的に進めています。SAFは化石燃料に依存せず、廃食油や木くず、古紙など身近な資源を原料として製造され、従来のジェット燃料と比べてCO₂排出量を大幅に削減することができます。

また、「成田空港のプラスチック・スマート」宣言に基づき、紙製・木製ストローの導入や環境配慮型バッグへの切り替え、100%リサイクル素材のペットボトル使用などが進められています。



*団体インタビューは、「エコメッセちば」のホームページで見ることができます。こちらの二次元コードからアクセス



成田国際空港
成田空港の将来的な目標と施策



成田国際空港
航空機・施設の脱炭素化の取り組み



成田国際空港
～プラスチックスマート宣言～

・・・おわりに・・・

今回の団体インタビューを通じて、環境についての理解・関心が学生一同大きく強まることができました。団体インタビューをさせていただきました成田国際空港株式会社様、団体インタビューにご協力いただきありがとうございました。今回の経験を今後の活動に生かしていきます。

3.すべての人に健康と福祉を

社会福祉法人 あかね

点字名刺のアピールのために、点字を入れる機械を持参し、お持ちの名刺またはチーバクんの印刷されているカードに点字をお入れしました。また、使用済みの点字用紙から作成したコースター等を配布しました。



タバコ問題を考える会・千葉(TMKC)

タバコの使用・製造が引き起こしている様々な社会課題について、SDG sの17項目にあわせて分かりやすく紹介しました。小さいお子さんから参加できるクイズやポスターの展示等を行いました。



千葉県 健康づくり支援課

個人が意識的に努力しなくても、日常生活の中で誰もが無理なく健康的な行動を促す「自然に健康になれる環境づくり」を推進するため、「栄養・食生活」「身体活動・運動」「喫煙」に関するリーフレット等を掲示しました。



千葉大学 予防医学センター

環境省「子どもの健康と環境に関する全国調査」(エコチル調査)の活動紹介ポスターの展示や研究成果のチラシ、リーフレットの配布など行いました。



4.質の高い教育をみんなに

千葉銀行&法テラス千葉

201会議室Bで、「こどもお金ずごろく」「誰もが司法にアクセスできる社会へ！弁護士たちの挑戦！」「誰でもできるお金の増やし方」を開催しました。



千葉県立中央博物館

中央博物館の活動内容をポスター等で紹介しました。また、開催中の季節展と来年度開催の特別展のテーマである深海生物に興味を持ってもらえるよう、参加者に塗り絵等してもらい、それを缶バッジにする体験イベントも実施しました。



千葉市子ども交流館

施設の見どころを紹介し、いらなくなったおもちゃのカプセル等を使ったエコな材料で工作をしました。びよこびよこ動く不思議な石を作り遊びました。



千葉大NESO

千葉大NESOは2023年度のエコメッセで頂いた賞金を活用し、子どもたちの「なぜ？」を育む自由研究プログラムや、科学の楽しさを体感できる体験型講座を実施しました。現在も規模や活動内容を広げており、地域の企業やNPO団体と提携したイベントも実施しています。



6.安全な水とトイレを世界中に

千葉県 企業局

千葉県営水道マスコットキャラクター「ポタリちゃん」と一緒に千葉県企業局のSDG sの取組を紹介するパネル展示や浄水処理実験、動画上映を行いました。



千葉県 下水道課
【(公財)千葉県下水道公社と共同出展】

普段は目にする事のない下水道。でも、下水道は見えないところで私たちの安全・安心で、快適な生活を支えています。汚水をすみやかに排除してくれる下水道。下水道が整備されることで汚水が直接街に流れなくなるため、街が清潔に保たれ、ハエ・蚊等の害虫や悪臭の発生も防ぐことができます。下水道について知って頂きたいことを紹介しました。



千葉工業大学 生命科学科 分子生態工学研究室

干潟・河川・湖沼を対象とした生物・水質・水環境健全性調査および分子生態工学的手法による水環境修復・保全研究のポスター発表を行いました。



千葉工業大学 文化会環境科学研究会

千葉県の印旛沼での水質調査結果について、過去のデータ推移をまとめたポスター発表を行いました。このポスターを通し、印旛沼の水質について知ってもらいました。また、水質調査やSDGsに関連したクイズ、水質調査道具の展示を行いました。



エコなつゆまあるひ

**7. エネルギーをみんなに
そしてクリーンに**

有限会社エムエスイー

「クリーンエネルギーの勉強グッズ」の展示。産業界の現場で使える蓄電池で3相200Vのモーターを動かす実演。mSeで制作した蓄電池(EnaBOX288)のできるこんなこと、あんなこと！



自然エネルギーを広めるネットワークちば

千葉県内において、従来型エネルギー(火力・原子力エネルギー)から自然エネルギー=再生可能エネルギーへのシフト、地域に密着した自然エネルギーを活用した持続可能な地域づくりを行うことを目的に、学習会やセミナーを開催しています。その活動内容の紹介を行いました。



房総ガス協議会 環境部会

「ガス」で出来る「エコ」な暮らしをテーマに、エネファームなど最新の省エネガス製品をご紹介します。



8. 働きがいも経済成長も

IRIS

フィリピンのイロイロ村に関連したフェアトレード商品を販売しました。私たちは、フェアトレードの中でも「国際フェアトレード」をメインとしており、「フェアトレード」という要素はもちろんですが、商品自体がとっても魅力的なものです！



9. 産業と技術革新の基盤をつくろう

日本大学 生産工学部 環境安全工学科

環境安全工学科で行っている地球環境問題への取り組みについて、研究室の活動をいくつかピックアップして紹介しました。その中でも、持続可能な社会を基盤としたものづくりについて体験型ブースを設置しました。



11. 住み続けられるまちづくりを

キャップドット

ボトルキャップアートです。ただし、キャップ用のネジが付いた磁石に自分でキャップを装着して描いていくものです。ブルーウォッシュやグリーンウォッシュにならないキャップアートを楽しんでもらいました。



一般財団法人千葉県環境財団

当財団で指定管理している千葉県いすみ環境と文化のさとセンターを紹介しました。センターで展示しているはく製の展示と動物クイズを行いました。



**(公社)千葉県浄化槽検査センター/
(一社)千葉県環境保全センター**

浄化槽の仕組みがわかる模型や、景品付きクイズで楽しく水環境を学びました。専門家が日頃の疑問にお答えする相談コーナーも設置しました。



千葉県立長生高等学校 サイエンス部

昨年より取り組んでいる長生村の湿地調査や、社会の衛生環境の改善を目指す「お掃除プロジェクト」など、長生高校サイエンス部の日々の活動を紹介します。



**千葉県立茂原高等学校 Team 茂高街塾
サーキュラーエコノミー推進Team**

回収したペットボトルキャップと海洋プラゴミを再生したプラスチックを利用した、啓蒙商品、リユース先割れスプーン『未来を変えるCapoon!!』と、ペットボトルホルダー兼スマホスタンド『プラクルホルダー』を販売しました。茂原市内で開始された、ペットボトルキャップ回収活動等のマテリアルリサイクルの啓蒙活動。



12. つくる責任つかう責任

株式会社協同工芸社

【端材活用プロジェクト LEM】LEMは学生と共創する看板の端材活用プロジェクトです。
・デザイン系学生に端材無償提供・端材ノベルティで認知向上貢献・リユースワークショップ開催・端材リユース活動啓発展示発表等、端材リユース活動を紹介しました。



公益財団法人古紙再生促進センター

楽しみながら古紙の分別体験ができる「射的・古紙分別ゲーム」を実施しました。参加者は並べられた古紙を射的銃でねらい、当てた古紙を種類別に分別ボックスに仕分けします。参加者全員にリサイクルノートと雑がみ啓発紙袋をプレゼントしました。



**持続可能な社会へ羽ばた毛！プロジェクト
河田フェザー株式会社**

3大学と共同で行う「持続可能な社会へ羽ばた毛！プロジェクト」の一環で、羽毛製品の回収や羽毛リサイクルの啓発活動を行いました。



**持続可能な社会へ羽ばた毛！プロジェクト
Green Sophia**

**持続可能な社会へ羽ばた毛！プロジェクト
成城大学 エシカル研究会**

**持続可能な社会へ羽ばた毛！プロジェクト
環境ロドリゲス**

羽毛ふとんやダウンジャケットを回収するボックスを設置。回収した羽毛は河田フェザー(株)の工場で洗浄・回復加工を行い、再び羽毛製品の原料となります。羽毛リサイクルについてまとめた資料の展示や、羽毛に触ってもらう体験などを通して、羽毛の良さやリサイクルする意義について体感していただきました。



生活クラブ生活協同組合(千葉)

持続可能な社会を目指すため、生活クラブが取り組む資源のリユース・リサイクル「グリーンシステム」やせっけん運動、でんきの共同購入を紹介しました。



エコなつゆまあるひ

一般社団法人千葉県産業資源循環協会

「モノが生まれ変わる様子を見に行こう！」をテーマにDVDを上映し、解体した家屋から出る木材のリサイクルについて学びました。また、参加者に産業廃棄物で作った線引きとシャープペンシルをプレゼントしました。



千葉県 循環型社会推進課

3Rやバイオマスの利活用等、循環型社会の推進に関する取組を体験ゲーム等を通して紹介しました。



千葉県消費者センター

すごろくを楽しみながら消費生活についての知識を身に付ける子供向けボードゲーム「しっかりさんになろうゲーム」を実施しました。また、消費者啓発に関する資料の配布・パネルの展示をしました。



千葉市消費生活センター

「エシカル消費や悪質商法に関するクイズ」や「100g当てゲーム」を実施しました。また、エシカル消費に関するパネルの展示や消費生活センターの啓発品を配布しました。



千葉スーパーウォール会

千葉スーパーウォール会は、「健康、快適、安心、安全な暮らしの提供を通じて関わる全ての人を幸せにすること」をミッションに掲げ、それぞれの地域で良い家を建て続けることで、地域に必要なとされる住宅会社を目指しています。



ちばやち手芸部orutoco.co

誰もが着た経験のある学生服の奥の深さを知ってもらい、使えなくなった学生服やランドセルを利用して新しいアイテムをつくり、次に使いたい方へ引き継いでいます。



(一社)日本プラスチック食品容器工業会

私達の身近なところで使われ、軽くて丈夫、安心安全、衛生的に保護・保存出来ると共に、食品流通・輸送にも欠かせないプラスチック食品容器を紹介しました。プラスチックの成形実演、そして体験してもらいました。



PRIYO handicrafts

バングラデシュ製のフェアトレード事業を通して「作る人」「使う人」「みんなの環境」を守る製品作りを目指しています。現地の人々の生活向上を図り、環境保全に寄与する製品開発や情報発信を通して日本の消費者に途上国における社会問題と地球環境に配慮したライフスタイルを提案しています。



みどり産業株式会社

「食べ残しが野菜になるまで」では、食の循環を体験的に学びました。食品リサイクル堆肥に触れる体験を通じて、循環型農業や資源活用の大切さを体験。「へんしん！リサイクル工作ひろば」では、廃材を使った創造的な工作を楽しみながら、リサイクルの多様性や廃棄物の価値を考えました。



明治大学 商学部水野勝之ゼミナール

金魚流通の中でのライフロスについて調査し、規格外等の金魚を活用した金魚すくい報告。処分される金魚を減らし、命の大切さを伝える教育機会を作る。被災地の金魚の活用により、地域経済・復興も支援。廃棄削減・観光活性化に貢献する取り組みを発表しました。



ライオン(株) 千葉工場

環境活動の取り組みについてエコアンケートを行いながら、PR活動をしました。



エコネコつやまあるきこ



13.気候変動に具体的な対策を

市原市

クリングシェルターや緑のカーテン事業、再生可能エネルギーの導入など、市原市が行っている様々な活動を紹介しました。



温室効果ガス削減推進市民ネットワーク(G-RED)

開放型炭化器を用いた竹や剪定枝の炭化資源化モデルとバイオ炭による温室効果ガス削減モデルを紹介しました。また手順が煩雑なため今まで小規模な活動では実装できなかった温室効果ガス削減量の可視化をよりシンプル、簡素に実行できるメソッドと開発中の可視化アプリケーションの概要を紹介しました。



環境カウンセラー千葉県協議会

現在活動している6つの主なジャンル「環境マネジメントシステム支援センター」「環境学習センター」「水環境対策センター」「地球温暖化対策センター」「廃棄物対策センター」「うちエコ診断」に新しく「生活環境」を加え、各テーマにつき超長期から喫緊な問題まで取り上げて提示、気付きから議論を試みました。



エコネコつやまあるきこ

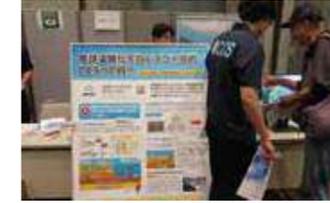
佐倉市気候変動適応センター・気象庁銚子地方気象台

様々な分野における気候変動の影響やそれに対する適応策、佐倉市気候変動適応センターの活動内容の紹介を行いました。また、千葉県内の観測データにより、作成した最新の気候変化(観測結果)や千葉県のこれからの気候の変化(将来予測)に関するパネル展示や関連パンフレットの配布などを行いました。



首都圏CCS株式会社

千葉県内でカーボンニュートラル実現に不可欠なCCS(二酸化炭素回収・貯留)の可能性調査を行う弊社の事業紹介しました。「CCSってなに?」「首都圏CCSってなに?」「どのような事しているの?」などなど、分かりやすくお伝えしました。



千葉県 温暖化対策推進課/千葉県 オルトヨタ

屋内ブースにて、地球温暖化対策体験コンテンツ、地球温暖化対策に関する動画の上映やパネルの展示、クリアファイル、リーフレット等の配布を行いました。また、屋外では、県の公用車として使用している燃料電池車「MIRAI」等の展示や、次世代自動車の乗り心地を体験できる試乗会を開催しました。



千葉県環境研究センター 企画情報室

○気候変動による影響や適応策について学べるデジタルコンテンツ等の体験・展示
○気候変動適応などに関するリーフレットの配布



千葉県 森林課

県営林における緑の循環認証会議(SGES)による国際森林認証取得の取組紹介や、CSR活動の一環として森林整備活動を行う企業等に、活動の場として県営林を提供する「法人の森事業」のパネル展示、活動企業等の紹介を行いました。



千葉県地球温暖化防止活動推進センター/千葉県地球温暖化防止活動推進員

ノートパソコンを用いた家庭の省エネ簡易診断、および「デコ活」への行動変容調査を行うとともに、各地区での千葉県地球温暖化防止活動推進員の活動をパネルなどで紹介し、各種ツールを使った温暖化防止の啓発活動を行いました。



千葉市 環境局

2050年カーボンニュートラルに向けた行動変容を促すため、脱炭素や自然保護、ごみ削減などについて啓発活動を行いました。



千葉市 脱炭素推進課

千葉市脱炭素推進パートナー支援制度など、市で進めている脱炭素施策について紹介しました。
※写真中央は千葉市脱炭素キャラクターの「エコ葉」です。



千葉市脱炭素先行地域推進コンソーシアム

先行地域事業の周知及びコンソーシアム参加会員(企業等)の脱炭素に関する取組みの紹介。



千葉商科大学 学生環境団体SONE

大学内で行っている断熱化DIYワークショップについて、千葉商科大学のscope2の取り組みの紹介。また、エコメッセ2025の千葉県の大学生プロジェクトに参加しております。



株式会社LIXIL

省エネ効果の高い住宅資材の紹介、省エネ効果を高める為のリフォーム商材の提案を行いました。



14 海の豊かさを守ろう

三番瀬写真展実行委員会

三番瀬に漂着する貝殻や流木を使う工作体験を実施しました。



千葉県 水質保全課

水環境の保全に関する取組を紹介しました。



千葉県 文化振興課

千葉県は首都圏にありながら、三方を海に囲まれているという特徴を持っています。本県の宝である海の魅力や文化を紹介するとともに、「千葉の海ブランドデザイン」を用いた缶バッジ作り体験を実施しました。



豊砂ビーチ・ワークス

活動場所である幕張豊砂の浜辺での写真ならびにパネルの展示を中心に、清掃活動時に回収した海洋プラスチックを用いたミニアート作成体験、海辺環境や海洋プラスチックについてのクイズラリーを行いました。



フィールドミュージアム・三番瀬の会

三番瀬の生態系を支えるプランクトンをデジタル顕微鏡による紹介と、アサリの幼生や底生生物幼生を育てるコアマモを紹介しました。



15 陸の豊かさを守ろう

学生団体グリーンベース

市原市の里山での活動や、今後開催する里山体験イベントの紹介、告知を行います。里山のモノを活用した体験も企画しました。



里山Bewahrung

千葉県内5市(千葉市、市川市、船橋市、佐倉市、白井市)で取り組む自然環境保全活動について紹介しました！



ちば河川交流会

千葉県の水辺を訪ね、親しみ、その魅力を伝えてゆく活動をしています。



千葉県 環境農業推進課

千葉県では、化学合成農薬や化学肥料の使用を通常の半以下に減らして栽培された農産物を「ちばエコ農産物」として認証しています。本ブースでは、「ちばエコ農産物」の制度や取組及び「環境にやさしい農業」の取組についてご紹介しました。



千葉県 自然保護課 生物多様性センター

千葉県にはたくさんの生きものがいます。その中には、絶滅のおそれのある生きものもいれば、よそから侵入してきて、在来の生きものを脅かすような生きものもいます。このような生物多様性に関するトピックをパネル展示で解説しました。パネルを読んで「生命(いのち)にぎわいクイズ」に挑戦した方には生きもの缶バッジをプレゼントしました。



千葉県立成田西陵高等学校 成田日本菫復活チーム

耕作放棄地の有効利用を目指して、植物染料である日本菫の栽培をおこなっています。植物染めを通して、環境保全や伝統文化の伝承活動に取り組んでいます。



特定非営利活動法人 ちば里山センター

- ・コンテナ苗の育て方。
- ・千葉県由来の苗木の無料配布。
- ・クロモジ茶の試飲。
- ・木の実などを使った工作教室。
- ・ロープワークによる安全な伐倒手法。



特定非営利活動法人 ちば森づくりの会

千葉市の森林の整備・保全に取り組む市民参加の森づくり活動を紹介：スライドショーやリーフレットで、機材や木竹品を手にとって、「秋の里山観察会」にお誘いも。



千葉明德中学校・高等学校

千葉駅から徒歩10分のところにある、中高一貫校です。本校は探究活動に力を入れており、校内で米や野菜を育て、そこから人と自然環境や社会との繋がりについてテーマを設定し研究を進めています。会場では本校の中学生が総合的な学習の時間に取り組んだ、古米の活用や地域の災害対策、水田の改良や農作物を育てる工夫などの取り組みを紹介しました。



公益財団法人 日本生態系協会

当協会が長南町で運営する「森の墓苑」を紹介。ここは、土砂採掘で破壊された所に、周囲に残った森から集めた在来植物の種や苗木を墓標として植え、50年後に豊かな自然の森にすることを目的とした日本で唯一のお墓です。土に還れる、ペットと一緒に眠れる、森づくりを通じて亡くなった後も社会貢献できるなど、自然派の方に人気です。



船橋ほたる観察会

船橋市内ヘイケボタル生息状況と会活動紹介パネル展示。船橋市内ヘイケボタル映像展示。



16 平和と公正をすべての人に

学生団体Change

今回はSDGsの目標「平和と公正をすべての人に」を中心にパネル展示を行いました。またSDGsボードゲームを使って、展示に来てくれた人とコミュニケーションを取りながら学んでいく場を作りました。



17 パートナーシップで目標を達成しよう

印旛沼流域水循環健全化会議 (千葉県水質保全課・河川環境課)

- ・「印旛沼流域水循環健全化会議」における取組の紹介(パネル展示等)
- ・広報・啓発資料の配布



エコメッセのつりまきさん

特定非営利活動法人環境パートナーシップちば
「若者が主役の環境保全活動応援事業」

令和7年度「若者が主役の環境保全活動応援事業」の紹介と令和6年度若者が主役の環境保全活動アイデアコンテスト受賞団体「大網高等学校農芸化学プロジェクトチーム」「carutena」「東邦大学ネイチャープロジェクト」の活動紹介。



特定非営利活動法人環境パートナーシップちば

持続可能な社会を目指し、多様な主体とのネットワークの構築を目的に活動している、地域の活動団体と若者をつなげる「ユース活動の場発見！」報告と若者の主体性を応援する団体の紹介をしました。



生活協同組合コープみらい

「コープみらい八街の森」の間伐材で、自分だけのオリジナル名札を作り、地球を守る森の大切さを学びました。コープみらいの環境への取り組みも一緒に見てもらいました！



(一社)千葉県環境保全協議会

- ・環境保全に関するパネル展示
- ・各企業のCSR報告書展示、企業説明案内
- ・クイズによる粗品提供



千葉県 県民生活課

ボランティアマッチングサイト「ちばボランティアナビ」をご紹介します。会員登録いただいた方には、チーバくんオリジナルグッズ等をプレゼントしました。



千葉工業大学 南澤研究室

南澤研究室は、健康寿命を維持するため植物を中心とする医食同源で認知症を予防する研究をしています。生物多様性をSDGsで守ることが重要です。そのうちのひとつ金盞花(キンセンカ)をめぐる、千葉県南房総市と古事記・日本書紀に記された「国生み神話」の舞台淡路島との奇跡の出会いと物語を中心に、私たちの活動をご紹介します。



千葉大学 環境ISO学生委員会

千葉大学環境ISO学生委員会の活動をパネルを使って紹介しました！また子どもたちが環境を学べる、企画を行いました。



SDGsマルシェ

オーガニックカムー

organic CAMOOは食べて健康、地球環境にも優しく子どもたちが安心して食べられる料理&スイーツをお届けするため、使用する材料全て100%オーガニックであることを追求し続けています。当日は、お弁当、焼菓子、旬の野菜などの販売しました。



きみつオーガニックマルシェ

きみつオーガニックマルシェは「オーガニックや地産地消など、エシカル消費をテーマ」としたマルシェです。一年に2回開催するマルシェには「SDGsに取り組んでいるお店」が多数出店します。今回はきみつオーガニックマルシェメンバーから、上総海苔や天然蜂蜜などの地産地消商品の販売を行いました。



clecle

チーバくんの米袋が、味わいのあるエコバッグに変身！30キロの米の重さにも耐える丈夫な素材を活かし、特別支援学校の生徒たちが製作・販売に取り組んでいます。社会参加と自立を目指す前向きなチャレンジを、ぜひ応援してください。



エコバッグつやまありこ

一般社団法人縄文グルメ推進委員会

縄文グルメ加盟店の逸品販売及び試飲を行いました。居酒屋レトロさんの縄文団子の販売、多機能型事業所ITSUMOの縄文缶詰の販売、リニューアルした出汁の試飲も行いました。



スマートビーンズ株式会社

千葉県産コシヒカリのつかみ取りを行います。弊社は主に事業者向けの省エネコスト削減対策を行っていますが、飲食店に生産者を紹介したり低コストでの物流支援も行っています。千産千消は物流コストを抑え輸送時のCO2排出量の低減にも寄与するので推奨しています。



生活クラブ風の村 農仲舎八街

農仲舎八街(のうちゅうしゃやちまた)は、八街市に開所した障がい者就労継続支援B型事業所です。農業を主な活動としており、年間を通して野菜の出荷を障がい者の方々と行っております。当日は農産物・農産加工品を販売しました。



軒先珈琲

フェアトレードコーヒーの紹介や販売。空き家や空き地などの遊休不動産の利活用など。



合同会社八八

八八は「ふるさとのちみつを世界へ」をモットーに非加熱・無添加の蜂蜜を作っております。千葉県大網白里市と勝浦市を拠点に、天然のはちみつの味や香りの奥深さや日本のふるさとならではの味を多くの方々に伝えたいという思いで活動しております。そして養蜂のみならず、蜜源植物を栽培することによる耕作放棄地の再生活動も行っています。



(株)布良

洗剤や石鹸なしで顔や体又は食器などが洗えるクロス類をメインに、紫外線予防ストールや布ナプキンなど癒しの商品などを販売しました。驚くほど心地が良いと評判の天然素材の綿の製品。自分も癒され、環境もきれいに。



エコバッグつやまありこ

7.エネルギーをみんなに
そしてクリーンに

自然エネルギーを広めるネットワークちば

千葉県内において、市民・事業者・研究機関・行政のパートナーシップによって、従来型エネルギー(火力・原子力エネルギー)から自然エネルギー=再生可能エネルギーへのシフトをめざす。もって、地域に密着した自然エネルギーを活用した持続可能な地域づくりを行う。



社会システム株式会社

大気環境に配慮し、燃料蒸発ガスの排出を抑制する取組(燃料蒸発ガスを回収する機能を有する計量機を設置)をしているガソリンスタンドを「大気環境配慮型SS(e-AS)」として認定し、燃料蒸発ガスを回収する機能を有する計量機の普及を促進している。認定されたガソリンスタンドには、「認定ランク」及び「認定証」を付与している。



9.産業と技術革新の基盤をつくろう

一般社団法人千葉県木材振興協会

木材の利用推進を図るとともに、県内木材産業の向上発展に努め、もって森林資源の保全と地域経済の振興に寄与することを目的に、木材に関する知識の啓発・普及や、木材の生産加工・流通等に関する情報の調査、収集、提供等を実施する。



11.住み続けられるまちづくりを

千葉県 公園緑地課
都市緑化のための普及・啓発事業



舞浜三丁目自治会

浦安市舞浜三丁目自治会では高齢化が進み、買い物弱者が増加した。2020年10月より毎週木曜日の午前中、町内老人会館横駐車場内で市内初となる市公認の出店店舗販売活動を行っている。「舞浜三丁目マルシェ」と名付け、八百屋、魚屋、パン屋、花屋、カレー屋6店が出店し、町内外の多くの方々が訪れている。大学生らの協力会員が本動画を作成する。



13.気候変動に具体的な対策を

NPO法人蔵前バイオエネルギー

放置竹林問題を解消するために竹林整備を行い、伐採した竹を燃やして消炭にするポラス竹炭の活用方法を研究開発しています。今までに開発した利用方法は次のとおりです。
①土壌改良剤②保湿剤③融雪剤④CO2吸収剤⑤果樹・野菜の成熟抑制剤などです。



15.陸の豊かさも守ろう

八千代市ほたるの里づくり実行委員会

ホタルをシンボルに、多様な生物がすめる環境づくりを、市民・事業者・行政とのパートナーシップで活動しています。ほたるの里が作られて28年となりました。念願のホタルの自生が確認できるようになりました。整備活動以外にも生物調査、おやこ生き物探検隊など、楽しく活動しています。



明治大学商学部水野勝之ゼミナール

水野勝之ゼミは、地域活性化について研究しています。その中でも、私たちは木育班として幅広い世代に木の重要性を知ってもらう活動をしています。その活動の一環として、昨年11月に浦安市で絵付けけん玉教室を開催しました。この活動を通して、多くの人々に楽しみながら、けん玉や木製品へ親しみを持ってもらうことができました。



市原市

市原市の環境や温暖化対策などの施策の計画・実施、緑のカーテン事業や、クーリングシェルの普及などの活動を行っています。



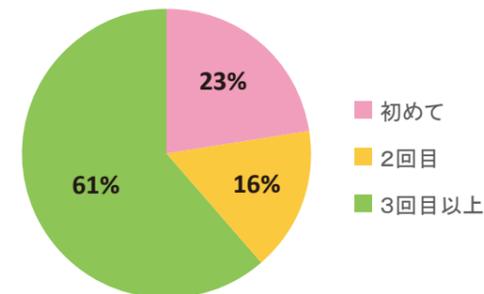
16.平和と公正をすべての人に

NACS千葉分科会

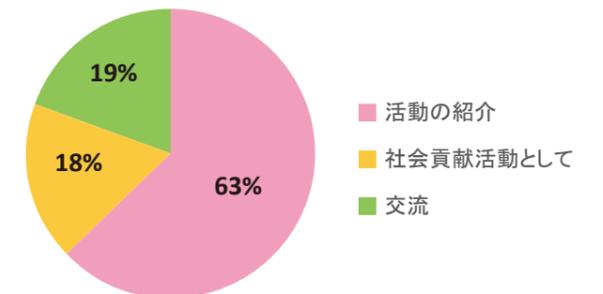
公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会(NACS)の千葉分科会は、千葉県在住の消費生活アドバイザーの研究会です。アドバイザーの視点で社会や生活者の課題について勉強し、得られた知見を皆様のお役に立てるべく活動しています。お墓のこと・お葬式・相続・エシカル消費・防災について等、情報発信しています。



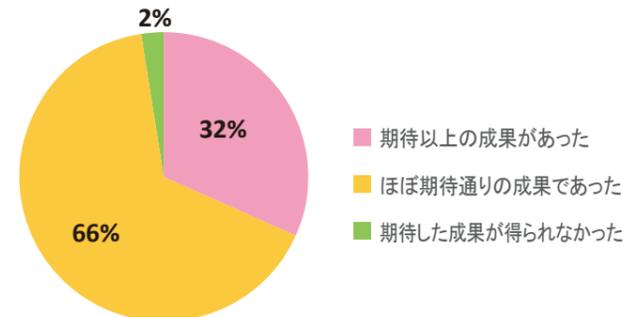
出展回数



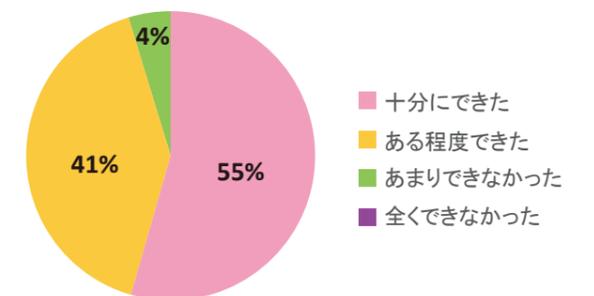
出展の目的



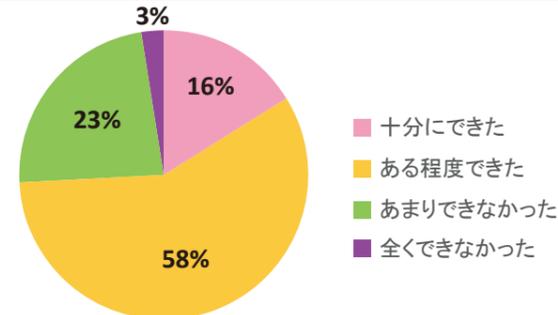
目的は達成されたか?



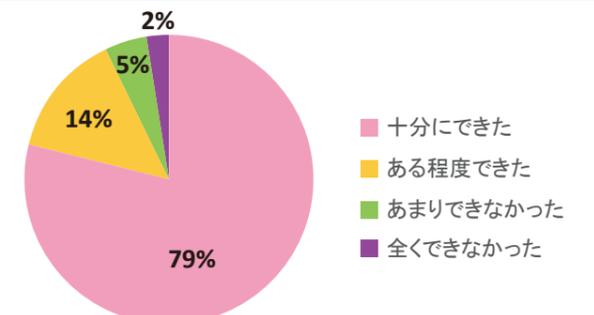
来場者と交流はできたか?



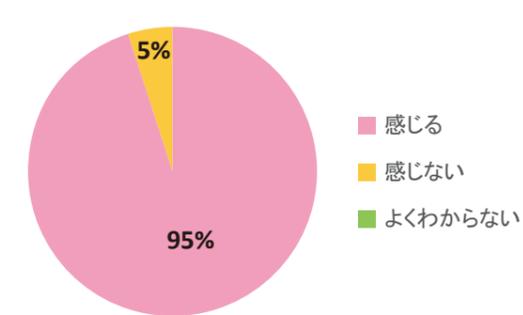
他の出展者との交流はできたか?



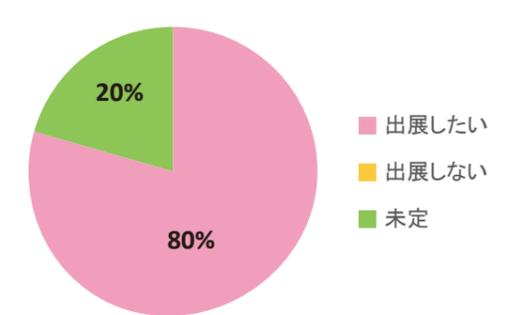
準備・搬入作業はスムーズにできたか?



他の団体と協力・連携する必要性は?



来年度の出展は?



出展団体から寄せられた感想

- ▶ 昨年・一昨年よりも賑わい、親子連れや若者の来場が特に増加した。
- ▶ 「毎年来ている」「楽しみにしていた」という声も多く、継続開催の効果が実感された。
- ▶ 各団体の環境・SDGsに関する取組を幅広い世代に伝えることができた。
- ▶ 体験型企画やクイズ、ビンゴ等により、子どもにも理解しやすい啓発が実現した。
- ▶ 他団体・他大学・学生との情報交換や交流が活発に行われ、有意義なネットワーク形成の場となった。
- ▶ 若者主体の取組や高校生の参加増加は好ましい傾向。
- ▶ 企業出展の減少、音響・導線・搬入・休憩スペースなど運営面の細かな改善要望あり。
- ▶ 事前説明や当日の事務局対応が丁寧で、初参加でも安心して出展できたとの評価が多数あった。

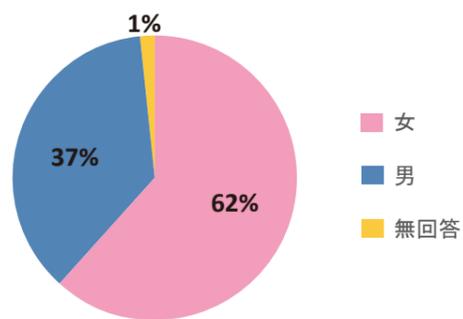


取り上げて欲しいテーマは?

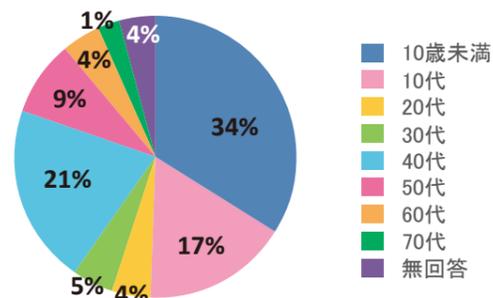
- ▶ 健康、食、福祉、防災、エネルギーなど、日々の暮らしに近いテーマを通して、環境を自然に考えられる内容にしてほしい。
- ▶ 企業や団体、自治体が協力して生まれた取組や成果を発表・共有できる「つながり」を感じられる場に。
- ▶ エコメッセは自体の環境への貢献も、分かりやすく伝えられるとよい。
- ▶ 謎解きやスタンプラリーのような仕組みで、子どもも大人も楽しみながらブースを巡れる工夫を。
- ▶ エシカル消費、フェアトレード、千葉県の地産地消の飲食や物販など、環境に配慮した選択肢を知るきっかけづくり。
- ▶ 農業を使わない農業や、生物多様性を守る取組、自治体の事例紹介も期待したい。
- ▶ 気候変動と平和、福祉、防災など、環境と社会課題のつながりを分かりやすく紹介。
- ▶ 地域の動き(フェアトレードタウンなど)も取り上げてほしい。

来場者アンケート

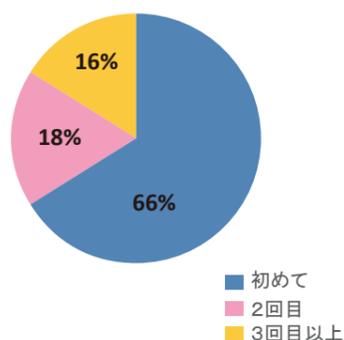
性別



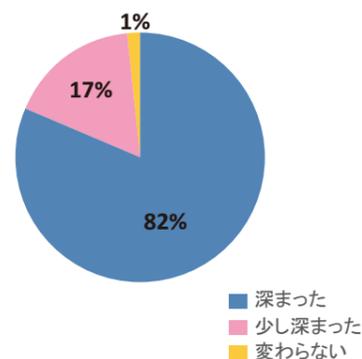
年代



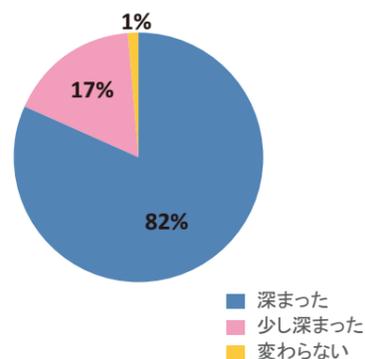
来場回数



SDGsへの理解が深まりましたか？



環境への理解が深まりましたか？



来場者が選んだ「いいね！」ブース上位10団体

来場者のみなさん(ビンゴ参加者)から、「いいね!」と思う出展団体や企画のブースをあげていただきました。

来場者の年代グラフからも解るように、子ども達の参加が多く、自然のめぐみを使った工作や体験型の出展や企画に人気が集まりました。

ブース 部屋番号	団体名
★ 国際会議室	里山ワールド~大草原ととんぐりの森~
★ 国際会議室	もったいないものバスターズ! ~ようこそ!ハロウィンフェスティバルへ~
★ 44	日本大学 生産工学部 環境安全工学科
14-16.屋外	千葉県 温暖化対策推進課課/千葉県オールドヨタ
202会議室	千葉市地球温暖化対策地域協議会(かるた大会)
国際会議室	缶つぶし大会・缶積み上げチャレンジ
45	豊砂ビーチ・ワークス
97	ライオン(株)千葉工場
89-91	(一社)千葉県環境保全協議会
79.80	(特非)環境パートナーシップちば



おかげさまで30周年を迎えました

これまでの30年とあゆみ

「エコメッセちば 1996」が幕張海浜公園をメイン会場に開催されてから、「エコメッセちば 2025」まで途切れることなく30回開催となりました。30年間「エコメッセちば」を支えていただいた多くの皆さまに感謝申し上げます。また、ご協賛・ご後援・ご協力頂いた皆さまにも改めて感謝申し上げます。

「エコメッセちば」は、持続可能な社会を目指し、子どもから大人まで、環境へ関心を持ち、多くの人々が環境保全に向けて自ら行動するようになることを願い開催してきました。時勢に合ったテーマを取り上げてきましたが、近年はSDGsをメインテーマに、環境・経済・社会の繋がりが見える場作りも意識し、コロナ過の中でもオンラインで開催するなど、新しい事へも挑戦してきました。実施に当たっては、市民・学校・企業・行政で実行委員会を設置し、協働の取り組みとして各主体がお互いの立場を活かし、思いや知恵を出し合い企画・運営しています。

5年前から学生団体が、若者や親子向けの体験の場など、新しい視点を取り入れたユース企画を実施し、来場者も親子連れが多く、若い年代の来場者が多いのも特徴の一つです。

一方、実行委員の高齢化もかかえつつ、これまでの30年を振り返り、新しい「エコメッセちば」へ取り組んでいきます。エコメッセ30年の歩みをご覧頂き、開催年ごとの特徴など感じて頂ければと思います。

これからの「エコメッセちば」へのご支援、ご協力などよろしくお願い致します。

エコメッセちば実行委員長 桑波田 和子



エコメッセの変遷

「エコメッセ」は、持続可能な社会を実現するために、環境に関心を持ち・学び・行動し、さらに協働することが必要であることを多くの人に伝えるための場です。

きっかけは、パートナーシップを推進することを目的の一つとして開催された「環境シンポジウム'95千葉会議」。これに参加し、さらに環境保全の輪を広めたいと思う企業人や市民が「言いだしっぺ会議」を立ち上げ、多くの人を巻き込み、そして市民・企業・行政による実行委員会を組織し、1996年に千葉市の幕張新都心を舞台にスタートしました。

当初は、自助自立型の環境イベントをつなぐ「イベント持ち寄り型イベント」という形態でしたが、次第に、環境に取り組む様々な団体が一堂に会して、その取組を来場者に伝える「環境活動見本市」として、子どもから大人まで、環境について楽しく学び体験出来る場を提供しつづけて30回目を迎えました。



※1996-2002は、エコメッセの中の「エコパザール」の開催日。

エコメッセちば 1996

平成8年10月5日(土)・6日(日)

場 所：幕張海浜公園 出展団体数：12団体
 テーマ：「みんなでつくるエコメッセ。ちばの幕張新都心全域で、日本初の環境のためのおまつりがはじまるよ!」
 特 徴：環境イベントをつなげる「イベント持ち寄り型イベント」として初開催、実行委員は80名以上。
 アース君を先頭に幕張新都心パレード実施、電気自転車試乗会、同時開催「朝日ソーラーカーラリー」(1998年まで)



アース君



朝日ソーラーカーラリー



JR 海浜幕張駅前

エコメッセちば 1997

平成9年10月4日(土)・5日(日)

場 所：幕張海浜公園 出展団体数：30団体
 テーマ：環境活動見本市。千葉の幕張新都心全域で、2回目の環境をテーマにしたおまつりがはじまるよ!!
 特 徴：エコパザール(環境保全活動に係わる物品販売・活動・展示)、市中パレード
 環境アドバイザー・環境カウンセラーによる「環境なんでも相談コーナー」、エコレストラン、写生大会



環境なんでも相談コーナー



エコパザール



プラスバンド演奏

エコメッセちば 1998

平成10年10月3日(土)・4日(日)

場 所：幕張海浜公園 出展団体数：34団体
 テーマ：ちばが変わる 地球も変わる
 特 徴：エコパザール(環境保全活動/循環/自然/国際協力/食/女性・自立)、エコ・クイズ大会、海の博物館



海岸清掃(環境保全活動)



貝殻アート(海の博物館)



ソーラーカー

エコメッセちば 1999

平成11年10月23日(土)・24日(日)

場 所：海浜幕張駅北口広場 出展団体数：52団体
 特 徴：会場を幕張海浜公園からJR海浜幕張駅北口広場に変更。
 エコステージコンサート、環境ウルトラクイズ



開会式



環境ウルトラクイズ

エコメッセちば 2000

平成12年10月21日(土)・22日(日)

場 所：海浜幕張駅北口広場 出展団体数：51団体
 特 徴：リサイクルファッションショー、
 絵手紙コンテスト、エコライフチェック



ぬいぐるみ人形劇



やきいもづくり

エコメッセちば 2001

平成13年11月3日(土)・4日(日)

場 所：海浜幕張駅北口広場 出展団体数：72団体
 テーマ：環境のお祭りだよ みんなでつくろう・楽しもう
 特 徴：強風によりテント倒壊のため、
 2日目はテントなしで出展。



エコステージ



パウムクーヘンづくり

エコメッセちば 2002

平成14年11月1日(金)・2日(土)

場 所：海浜幕張駅北口広場他 出展団体数：61団体 来場者数：10,000人(エコメッセの2日間)
 テーマ：地球温暖化防止のために木を植えよう!(第54回全国植樹祭協賛)
 特 徴：エコパザールとエコ展示とエコステージを一体のものとし、これを「エコメッセ」として、新たにスタート。
 初めて平日開催(金・土)、出展料の徴収始まる。



子ども和太鼓演奏



エコステージ



太陽光エネルギー

エコメッセちば 2003

平成15年11月9日(日)

場 所：海浜幕張駅北口広場他 出展団体数：54団体 来場者数：6,500人
 テーマ：みんな元気に! 楽しく! 環境の輪!
 特 徴：公的資金支援無し、実行委員の継続への強い思いで、市民実行委員が事務局を務め1日のみの開催。
 低公害車試乗会(燃料電池車・ハイブリット車)、木工体験



低公害車試乗会



木工体験



人力発電

エコメッセちば 2004

平成 16 年 8 月 8 日(日)

場 所：幕張メッセ国際会議場 出展団体数：69団体 来場者数：7,000人
テーマ：恐竜は・・・私たちは資源循環型社会をめざす
特 徴：千葉県とNPOとの協働事業に採択され、屋外から屋内へ、幕張メッセで初開催。
ペロタクシー試乗、エコツアー、こどもエコレポーター



ペロタクシー試乗



着物つかいまわしファッションショー



大学生の参加

エコメッセちば 2005

平成 17 年 9 月 18 日(日)

場 所：幕張メッセ国際会議場 出展団体数：64団体 来場者数：6,600人
テーマ：エコメッセちば10周年 めざせ、資源循環型社会～熱っほいちば、アイスの地球～
特 徴：印旛沼の水質調査発表、「もったいないメッセージ」の発表、クマゼミ調査発表、
「わくわくたんけん2005旅する地球の水」の体験型展示、併催事業「STOP 地球温暖化 in メッセ」



わくわくたんけん2005旅する地球の水



STOP地球温暖化



エコ県民

エコメッセ 2006 in ちば

平成 18 年 9 月 3 日(日)

場 所：幕張メッセ国際会議場 出展団体数：62団体 来場者数：8,000人
テーマ：めざせ、持続可能な社会～楽しく 賢く エコライフ～
特 徴：名称を「エコメッセちば」から「エコメッセ」へ。
燃料電池自動車・水素自動車・電気自動車試乗会、南極の水展示、千葉ロッテマリーンズキャラクターショー、
みんなで考えて、持続可能な社会に変えよう!!



会場風景



会場風景



分野別に配置された出展ブース案内板

エコメッセ 2007 in ちば

平成 19 年 9 月 9 日(日)

場 所：幕張メッセ国際会議場 出展団体数：82団体 来場者数：7,500人
テーマ：めざせ、持続可能な社会～楽しく 賢く エコライフ～
特 徴：グリーン電力を使用、エコチンドン屋による街頭宣伝、バイエフエムDJによる会場内レポート、
「平成19年度地球温暖化防止環境大臣賞」受賞。
G20ちば2008に向けた展示、エコネコ近未来エコシティ巨大パネル展示、八都県市3R学生サミット同日開催



エコチンドン屋の街頭宣伝



千葉ロッテマリーンズキャラクターショー



チラシ

エコメッセ 2008 in ちば

平成 20 年 9 月 7 日(日)

場 所：幕張メッセ国際会議場 出展団体数：92団体 来場者数：9,100人
テーマ：地球温暖化防止と生物多様性の保全～めざせ、持続可能な社会～
特 徴：会場の様子をインターネット中継。
ICCS公認 缶つぶし世界選手権、アイドリングストップ装置搭載トラック展示、「環境フォーラム」(併催事業)



会場入口



利根コカ・コーラボトリングブース(森の博士)



チーバくん

エコメッセ 2009 in ちば

平成 21 年 9 月 6 日(日)

場 所：幕張メッセ国際会議場 出展団体数：98団体 来場者数：10,100人
テーマ：地球温暖化と生物多様性～エコメッセで暮らしを変えよう
特 徴：地球温暖化と生物多様性の特設ゾーンの設置、里山・田舎暮らし物産展、「エコスクールライフで新しい未来」、
子ども製鉄所、野口健氏(千葉県環境大使)による講演、来場者数 1 万人を超える!



子ども製鉄所



里山・田舎暮らし物産展



野口健氏・知事とともに「こどもエコメッセージ」

エコメッセ 2010 in ちば

平成 22 年 9 月 5 日(日)

場 所：幕張メッセ国際会議場 出展団体数：120団体 来場者数：10,500人
テーマ：地球人みんなのエコロジーフェスティバル!
特 徴：学生コーナーやCSRコーナー等の新設。千葉の里山・田舎暮らしエコバザール、出展団体 100 を超える!



開会式



CSR コーナー((株)ライオン)



農産物販売

エコメッセ 2011 in ちば

平成 23 年 9 月 4 日(日)

場 所：幕張メッセ国際会議場 出展団体数：120団体 来場者数：12,000人 出展料変更 企業:10,000→15,000円
市民団体: 5,000→ 6,000円
テーマ：環境と経済「ちば最大の環境活動見本市」
特 徴：東日本大震災を経て、東北や千葉の被災地支援のためのチャリティ販売や、震災セミナー、節電対策等を実施。
房総ガス協議会様と共催で「エコハピ・カフェちばから考えよう! 3.11 後の私たちの暮らし」を開催、
さらに国際森林年にあたり森林の保全・活用・体験等。がんばろう千葉物産コーナー、
企画展「身近なところから節電対策」、震災セミナー「千葉県の液化化と放射能について」、震災写真展コーナー、
チャリティリユースTシャツ販売



震災写真展



エコハピ・カフェ



チャリティリユースTシャツ販売

エコメッセ 2012 in ちば

平成 24 年 9 月 17 日(月・祝)

場 所：幕張メッセ国際会議場 出展団体数：140団体 来場者数：12,000人
 テーマ：つながれ、ひろがれ、エコメッセ「ちば最大の環境活動見本市」
 特 徴：団体同士の連携・協働による取組を推進するため「環境協働創造市」を実施。
 「まるごみ'12」とコラボ、パネルディスカッション「どう取り組むかこれからの新エネルギー」、
 ソーラークッキング実演、節電ビンゴゲーム



まるごみステージ



ソーラークッキング実演



交通安全適正診断車ちとらくん(千葉県トラック協会)

エコメッセ 2013 in ちば

平成 25 年 9 月 28 日(土)

場 所：幕張メッセ国際会議場 出展団体数：137団体 来場者数：10,200人
 テーマ：つながれ、ひろがれ、エコメッセ
 特 徴：大学や高校等の取組を紹介する「スクール環境メッセ」や環境と福祉の協働「はーとふるメッセ」を実施。
 環境アニメの上映会、環境漫才、パネルディスカッション「千葉から広げる自然エネルギー」、
 協力して！と協力します！をつなぐマッチングメッセ



環境漫才(住みます芸人)



スクール環境メッセ



千葉から広げる自然エネルギー

エコメッセ 2014 in ちば

平成 26 年 9 月 23 日(火・祝)

場 所：幕張メッセ国際会議場 出展団体数：118団体 来場者数：12,000人 出展料変更 企 業：15,000→20,000円
 テーマ：イマを知ろう ミライをつくろう とも博覧会 市民団体：6,000→8,000円
 特 徴：子どもたちの視点で、環境について体験し、考え・行動するきっかけづくりの場を提供。
 子ども環境教室「冒険の館」、エコなおもちゃで遊ぼう、おもちゃ病院がやってくる



子ども環境教室「冒険の館」



子ども環境会議ちば



おもちゃ病院

エコメッセ 2015 in ちば

平成 27 年 9 月 23 日(水・祝)

場 所：幕張メッセ国際会議場 出展団体数：112団体 来場者数：12,000人
 テーマ：エコっておもしろい
 特 徴：エコメッセ開催 20 回目。
 楽しくまなぼう環境アイランドちば、環境と防災セミナー、千葉県3Rシンポジウム、船橋夏ボランティア体験



エコステージで 20 回目開催のお祝い



楽しくまなぼう環境アイランドちばのミニ SL



「船橋夏ボランティア体験」の受入

エコメッセ 2016 in ちば

平成 28 年 9 月 22 日(木・祝)

場 所：幕張メッセ国際会議場 出展団体数：100団体 来場者数：8,500人
 テーマ：みつけよう私の COOL CHOICE
 特 徴：交流部会にて「図書館・博物館、ものづくり、農業・福祉・エネルギー、海辺・水辺、ボランティア体験」等の
 交流活動を実施。南極に学ぶ地球環境と暮らし、スタンプ&シールラリー、いいね！ブースの投票



南極に学ぶ地球環境と暮らし



国土緑化運動ポスター原画コンクール



bayfm「Love our bay」公開録音

エコメッセ 2017 in ちば

平成 29 年 10 月 9 日(月・祝)

場 所：幕張メッセ国際会議場 出展団体数：96団体 来場者数：8,000人
 テーマ：進め COOL CHOICE!
 特 徴：COOL CHOICE ブースの設置、持続可能な食生活を始めよう、フードドライブ、エコスタイルクッキング、
 「まるごみ in エコメッセ」幕張メッセ周辺のゴミ拾い、交流部会活動



まるごみ in エコメッセ



フードドライブ



エコスタイルクッキング

エコメッセ 2018 in ちば

平成 30 年 10 月 8 日(月・祝)

場 所：幕張メッセ国際会議場 出展団体数：112団体 来場者数：9,000人
 テーマ：ちばから発信SDGs
 特 徴：2015年9月の国連サミットで採択された国際目標「SDGs」をテーマに取り入れた。
 SDGsフェスタ、気候変動シンポジウム、東京SDGs吹奏楽団の演奏、JICA地球ひろば、読売新聞「出前授業」



東京SDGs楽団



JICA 地球ひろば



読売新聞「出前授業」

エコメッセ 2019 in ちば

令和元年 10 月 20 日(日)

場 所：幕張メッセ国際会議場 出展団体数：113団体 来場者数：10,500人
 テーマ：みんなで取り組むSDGs
 特 徴：SDGsの木・年表を作ろう、オリンピック・パラリンピックの競技体験、千葉県環境大臣 野口健氏トークショー、
 オール千葉おもてなし隊トークショー、フードドライブ、食エコレシピの募集



SDGsの木



オリンピック・パラリンピック競技体験



野口健氏トークショー

エコメッセ 2020 in ちば

令和2年11月1日(日)

場 所：オンライン 出展団体数：60団体 視聴者数：10,828人(2020.12.31時点)
 テーマ：SDGs暮らし方変革
 特 徴：新型コロナウイルス感染症対策により、会場開催から初のオンライン開催へ切り替え。
 参加型オンラインセミナー、SDGsユース会議2030、オンライン出展(動画で活動紹介)



オンラインセミナー



SDGsユース会議2030

エコメッセ 2021 in ちば

令和3年10月16日(土)・17日(日)

場 所：オンライン 出展団体数：60団体 視聴者数：11,761人(2022.1.31時点)
 テーマ：Prosperity：笑顔あふれる未来を創ろう
 特 徴：2日間にわたるオンライン開催。熊谷県知事からのメッセージ、オンライン座談会、
 ユースによるSDGsインタビュー、出展団体と視聴者による双方向交流



熊谷県知事からのメッセージ



オンライン座談会



行政や企業への団体インタビュー

エコメッセ 2022 in ちば

令和4年10月22日(土) オンライン・23日(日) 会場

場 所：オンライン 出展団体数：33団体 視聴者数：7,033人(2023.1.31時点)
 幕張メッセ国際会議場 出展団体数：50団体 来場者数：1,219人
 テーマ：people：笑顔のバトンをつなげよう
 特 徴：オンラインと会場の2日間で開催。会場はコロナ対策のため、3部に分け事前申込制で開催。
 ユースによる団体インタビュー



SDGs 17の目標



ブースとブースの間を空けて展示



ウィッシュ・ツリー制作

エコメッセ 2023 in ちば

令和5年10月14日(土) オンライン・15日(日) 会場

場 所：オンライン 出展団体数：20団体 視聴者数：5,406人(2024.1.31時点)
 幕張メッセ国際会議場 出展団体数：50団体 来場者数：2,300人
 テーマ：peace：身近な暮らしからもう一步！
 特 徴：ユースによる団体インタビュー、里山たんけん隊、里山あそび、若者アイデアコンテスト、ミニコンサート



ユースによる団体インタビュー



若者アイデアコンテストの表彰式



自然界ラッパー OMG さんのミニコンサート

エコメッセちば 2024

令和6年10月19日(土) オンライン・20日(日) 会場

場 所：オンライン 出展団体数：12団体 視聴者数：7,692人(2024.12.31時点)
 幕張メッセ国際会議場 出展団体数：67団体 来場者数：4,500人
 テーマ：partnership：みんな地球のレスキュー隊
 特 徴：名称を「エコメッセ in ちば」から「エコメッセちば」へ。
 ユースによる団体インタビュー、リトルアドベンチャー、自然のめぐみで里山遊び、SDGsマルシェ
 ピンゴ大賞、いいね投票



リトルアドベンチャー



里山遊び



SDGsマルシェ

エコメッセちば 2025

令和7年10月18日(土) オンライン・19日(日) 会場

場 所：オンライン 出展団体数：10団体 視聴者数：16,147人(2025.4~12)
 幕張メッセ国際会議場 出展団体数：93団体 来場者数：7,500人
 テーマ：エコメッセ 30周年感謝祭
 特 徴：ユースによる団体インタビュー、もったいないものバスターズ！、里山ワールド、SDGsマルシェ、
 パートナーシップピンゴ、缶つぶし大会、いいね投票



もったいないものバスターズ



里山ワールド

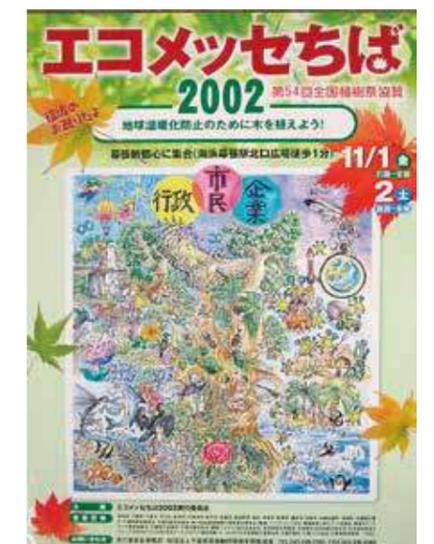
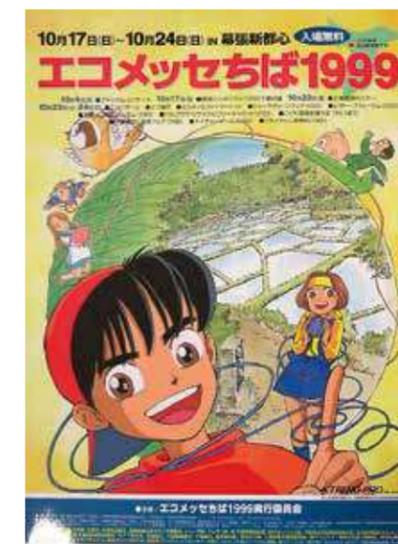


缶つぶし大会



エコメッセのあまこ

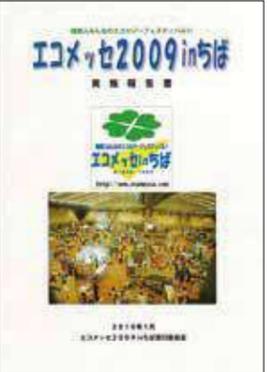
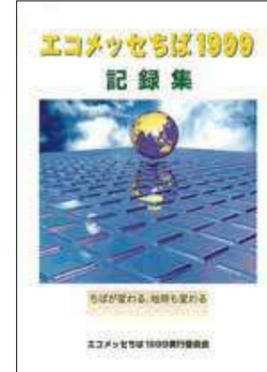
過去のエコメッセ開催チラシ



過去のエコメッセ開催チラシ



過去のエコメッセ報告書



出展、協賛、協力、後援、実行委員などでお世話になった団体一覧

※敬称略、五十音順

※出典:「エコメッセの記録1996～2007」、「2008～2024報告書」、「2025開催チラシ」

※(特非):特定非営利活動法人、(認定特非):認定特定非営利活動法人、(公財):公益財団法人、(一財):一般財団法人、(財):財団法人、(一社):一般社団法人、(社):社団法人、(福):社会福祉法人、(農):農事組合法人

※参加時点での名称のため、現在は名称変更されている団体もあります。
また、各年の報告書からの抜粋のため、重複している団体もあります。

あ行 (株)アイ・アールディー、アイスト倶楽部、(株)アイポップ、(福)青い空、(福)アアンドティだいえい、(福)あかねワークアイ・船橋、(株)秋葉商店、アクア庵、アクアクリン協会、アクアダネット(株)、(認定特非)アクセス、アクティオ(株)千葉市子ども交流館、(認定特非)アサザ基金、(有)朝日、旭愛農生産組合、旭硝子(株)、旭硝子(株)千葉工場、旭光商運(株)、朝日新聞社、朝日新聞千葉総局、朝日ソーラーカーラリー、アサヒビール(株)千葉統括支社、アサヒビール(株)パッケージング技術研究所、アサンテサーナアウトレット Shop、アサンテサーナきさらづ、アジアンギャラリー&ナチュラルフードカフェ風楽、アスカ自動車工業(株)、穴がま遠藤、(株)アベックス、アミューズテクノサービス、アムネスティ・インターナショナル、アムネスティ・インターナショナル千葉 タフの会、アメジスト・アート出版、(株)アメテック東日本設備、アラックス(株)、(特非)アルコイリス、(株)アルファ・エッグウォーターサービス千葉、安房 de 草刈十字軍、安房住まいづくり研究会、アースガーデン、(特非)アースティ・エブリティ、アースティちば実行委員会、(有)アースマーケットプレイス、(株)アース・リー、アースリサイクルグループ&エコキッズ、アース・リサイクル・グループ、アースリサイクルネットワーク、イオン(株)、(公財)イオン環境財団、石井商事(株)、郁文館グローバル高等学校エコロジーゼミ、(特非)いすみ竹炭研究会、(特非)いすみライフスタイル研究所、いただきます.info/ エコが見える学校 / はしわたし研究所、一宮ウミガメを見守る会、市原エコセメント(株)、(株)市原組、いちほら里山クラブ、市原 SaToYaMa よくし隊、市原市、市原ネイチャークラブ、市原ネイチャーゲームの会、(特非)いちほら自然楽校、市原商工会議所、(株)一水製作所、出光興産(株)、出光興産(株)千葉製油所、(有)田舎家、いぬみ郷、(株)いろだま、(有)インテックリサーチ、印旛沼漁業協同組合、(特非)印旛沼広域環境研究会、印旛沼探検隊、印旛沼流域水循環健全化会議、(特非)印旛野菜いかだの会、ウインドパワー千葉、(有)上野工房、(株)ヴァイスヴァーサ、NPO ウィズ、植草学園大学学生団体共生の森人、(株)ウェザーニューズ、ウォータースタンド(株)、牛久工務店スカイライトチューブ事業部、雨水流出抑制技術協会、海の博物館実行委員会、浦安三番瀬クリーンアップ大作戦実行委員会、浦安水辺の会、(特非)エアコンクリーニング協会、エアマル(株)、エコウィンド、エコ紙とんぼ協会、エコガーデン研究会、(特非)エコキーパー協会、エコクリーン千葉(アドバンスクラブ)、エコクリーンちば(三井住友海上アドバンスクラブ千葉支部・千葉北支部)、エコ雑貨倶楽部、えこさぼちば、エコショップK&S、エコチル調査千葉ユニットセンター、エコテスト(株)、エコトンボの会、エコトンボの会 / 日本エコトイ協会、エコビジネス(株)、エコマインド 05、エコ窓普及促進会、エコメッセを支える会、エコ☆チャイナ3R 推進チーム「チームもったいない」、江戸川大学環境 ISO の会、江戸川を綺麗にする会、海老川流域水循環再生推進協議会、(株)エフエムサウンド千葉、(有)エムエスイー、エム・ケー・テクノサービス、(株)エレクトラム、エムサービス(株)、エンライトコーポレーション、扇屋ジャスコ(株)、おかげさま農場、(特非)お菓子工房はあもにい、(株)おぎぞ、おちぢや、おとのバザール実行委員会学生プロジェクト、御成街道ゴミ拾い駅伝実行委員会、おやかカフェ、(特非)おやかカフェ家づくりワークショップ、(福)オリーブの樹、(福)オリーブハウス、オーガニック・エナジープロジェクト、オーガニックレストランカムー、温室効果ガス削減推進市民ネットワーク(G-RED)

か行 花王カスタマーマーケティング(株)、花王グループカスタマーマーケティング(株)、学生団体おりがみ環境チーム、学生団体グリーンベース、学生団体 CHANGE、学生服から SDGs を考える会、かごしま・島交流の会、(株)カスタムテック、(財)河川環境管理財団、(特非)カフェ・バルコニーの家、鎌ヶ谷おもちゃ病院、紙好き工房空と海、「紙与作の店」(有)T&T、亀吉、(特非)カメネットワークジャパン、亀村木材(株)、カモミールの森、ガラスリソーシング(株)、ガラスパワ、(株)カワイチ・テック with 有限会社水都環境、川崎製鉄(株)千葉製鉄所、(株)川島屋、ガールスカウト日本連盟千葉県支部、(一社)ガールスカウト千葉県連盟、ガールスカウト千葉県連盟なのはな会、NGO 環境ウォッチ TOKYO、(特非)環境カウンセラー千葉県協議会、環境学生団体 emfactory、環境共生ちばの家開発協議会、環境再生県民の会、環境シンポジウム 1997-2011 千葉会議実行委員会、環境教育を進める会、環境シンポジウム千葉会議、環境省、環境省関東地方環境事務所、環境省関東地区環境対策室、環境庁、(株)環境ドクターコンサルタンツ、環境パートナーシップちば、(社)環境プランニング学会、(認定特非)環境リレーションズ研究所、がんこ本舗、神崎川をきれいにする会、関東地域エネルギー温暖化対策推進会議(環境省)、関東地域エネルギー温暖化対策推進会議(関東地方環境事務所・関東経済産業局)、間伐材普及促進会、地球温暖化防止対策地域協議会登録 間伐材普及促進会事務局、菊川工業(株)、木更津市消費生活センター、木更津高専「上総掘り」プロジェクト、キッコーマン(株)、機動洗車隊、樹の住まい舎・木の間林産組合、(福)樹の実会就労継続支援B型「大宮」、きみつオーガニックマルシェ、キャップドット、九都県市首脳会議廃棄物問題検討委員会、(株)協栄工業、(株)協同工藝社、共同通信社千葉支局、京セラ(株)京セラソーラー千葉店、(株)京セラソーラーコーポレーション、(株)共立理化学研究所、極東石油工業(株)千葉製油所、(一社)銀座環境会議、キリンビールマーケティング(株)千葉支社、キリンビバレッジ(株)、キンコーズ・ジャパン(株)キンコーズ・千葉中央店、くらふと宮野、(株)クリエーション、クリード(株)、(特非)蔵前バイオエネルギー/ポラス竹炭研究所、グリーン購入ネットワーク(GPN)、グリーンフォワード、NPO ぐるぐるバイオ、グループ 2000、経済産業省関東経済産業局、京葉銀行、京葉太陽光システムエンジニアリング、(株)高環境、高環境エンジニアリング、(有)コウケン工業関東営業所、合成洗剤をやめて石けんを広める千葉県連協会、向上高等学校生物部、(株)合同出版、コウノトリと共生する地域づくり推進協議会(野田市)、

出展、協賛、協力、後援、実行委員などでお世話になった団体一覧

か行 コウノトリ・トキの舞う関東自治体フォーラム、(株)佼和テクノス、コスモ石油(株)千葉製油所、国際 CAN つぶし協会(ICCS)、国際交流部会、(独)国際協力機構東京センター / 千葉デスク、(特非)心のサポートグループスピリッツ、(公財)古紙再生促進センター、(株)コスモサウンド、こだいらソーラー、こだわりのスペースあき、こどもエコクラブ、NPO 子どもネット八千代、(一社)子供プラス未来、コミュニティテラスいぬみ郷、コムデザイン(株)、(株)コープサービス住宅事業部コープハウジング千葉支店、コープ常総ちば準備会、(株)コープサービス葬祭事業部千葉営業所コプセ千葉案内センター

さ行 (株)斎武商店、(特非)栄町観光協会、栄町ミュージアムビレッジ推進委員会、桜会、佐倉市気候変動適応センター・気象庁銚子地方気象台、桜が丘晴山苑、さくらグリーンクラブ、ザストップ CO2・アイセル EMC(株)、サッポロホールディングス(株)、佐渡市(農林水産課生物多様性推進室)、佐渡低炭素島づくり協議会(新潟県佐渡市)、里山応援隊、里山シンポジウム実行委員会、里山 Bewahrung、(株)サニックス、ザマンハッタン、サンキュウ(北総里山クラブ)、産経新聞社千葉総局、(特非)さんさん味工房、三番瀬写真展実行委員会、(特非)さんむ環連協、山武市、山武に雑木林をつくる会、さんむフォレスト、(有)サン農園ベジタブルガーデン、(株)サンファームハーブアイランド、山陽製紙(株)、三陽メディア(株)、(有)シーサイドビジョン、(株)シーボン、(株)シール堂印刷、自給エネルギーの会、資源と環境の教育を考える会「エコが見える学校」、(特非)自然エネルギー千葉の会、自然エネルギーを広めるネットワークちば、時事通信社千葉支局、NPO 持続可能な開発のための教育の 10 年推進会議、持続可能な社会へ羽ばた毛! プロジェクト《環境ロドリゲス、河田フェザー(株)、成城大学エシカル研究会、GreenSophia》、(公財)自動車リサイクル促進センター、市民エネルギーちば(同)、シナリー化粧品(株)、(特非)シビルまちづくりステーション、下泉・森のサミット、ジャイネパール、社会システム(株)、ジャスコ(株)、(株)ジャパン・クリーン・エナジー(JCE)、(特非)シャプラニール・ステナイ BOOK、シャープ(株)、シャープアメニティシステム(株)、シャープ労働組合、ジュゴン保護キャンペーンセンター、首都圏 CCS(株)、(特非)循環型地球環境保全機構、NGO ジュレー・ラダック、(有)ジュークジョイント、障がい者の自立を支えあう会、障害者の働く場を作る会、城西国際大学環境社会学部、城西大学現代政策学部石井ゼミ、(一社)縄文グルメ推進委員会、食品容器環境美化協会、ショパン、(財)新エネルギー財団、新興工機(株)、新日鐵住金(株)君津製鐵所、新日鐵住金(株)技術開発本部、新明和工業(株)、森林塾かすさの森、(特非)森林デザイン研究所、(株)水文計画コンサルタント、鈴木産業(有)、ストップ地球温暖化ちば、ストップ地球温暖化千葉推進会議、スマートビーンズ(株)、住友化学(株)千葉工場、(有)スロー、スーパー紙とんぼの会、(有)生活アートクラブ、生活協同組合コープみらい(旧:生活協同組合ちばコープ)、生活協同組合パルシステム千葉(旧:生活協同組合エルコープ)、生活クラブ風の村農仲舎八街、生活クラブ生活協同組合・千葉、生協労組ちば、セイコーインスツルメンツ(株)、(特非)生産備蓄サポート、(特非)生態工房、石陶房、石炭火力を考える東京湾の会、(株)関根産業、関さんの森を育む会、(株)関根産業、(特非)せっけんの街、せっけん連絡協議会、セブンイレブン助成金、(株)セブンシーズ、(特非)全国無洗米協会、全国 BSC 理美容協同組合千葉県本部、センコー(株)千葉支店、全日本ロータス同友会千葉県支部、専修大学、ソーケングループ&エコ窓普及促進会、ソーケングループ&エコ窓普及促進会&日本自動ドア、ソーケングループ&スタジオリマップ、(株)創光、(株)相互、匝瑳市、(株)造伸、ソーラーッキングネットワーク、(株)損害保険ジャパン

た行 NPO 太東燈台クラブ、第 54 回全国植樹祭千葉県実行委員会、第 2 クローバー学園、大日理化(株)、タイの子供たちを支援する会「コープクン・マーク」、(認定特非)太陽光発電所ネットワーク千葉地域交流会、(特非)太陽光発電所ネットワーク、(特非)タオ、(株)タカラトミー、(福)高柳福祉会だけのこ、(一社)タクトリサイクル、竹工房せいみや、竹細工小屋、竹炭のど給本舗、(特非)竹もりの里、立巴物産(株)、たなか造園、タバコ問題を考える会・千葉(TMKC)、地域作業所 hana、(株)地域新聞社、小さな焼き菓子屋おおぞら、地球環境平和財団、地球環境パートナーシッププラザ(GEIC)、(特非)地球友の会千葉委員会、(特非)地中熱利用促進協会、(特非)知的コミュニケーション研究機関連合、千葉アマチュア美術会、「ちばエコ農業」生産者協議会、千葉科学大学、ちば河川交流会、ちば環境再生基金、ちば環境再生県民の会、ちば環境再生県民の会(ひまわりエコプロジェクト)、(特非)ちば環境情報センター、千葉銀行、千葉銀行&法テラス千葉、ちばくりん、千葉刑務所、千葉ケナフの会、千葉県《総合企画部【国際課、地域づくり推進課、千葉の里山・森づくりプロジェクト推進会議(地域づくり推進課)】、環境生活部【温暖化対策推進課、環境政策課、環境研究センター、くらし安全推進課、県民生活・文化課(NPO 活動推進課、県民交流・文化課)、大気保全課、水質保全課、自然保護課、生活安全課(県民生活課)、生物多様性センター、循環型社会推進課(資源循環推進課)、文化振興課】、健康福祉部【福祉政策課】、商工労働部【観光企画課、経済政策課、産業振興課】、農林水産部【安全農業推進課、環境農業推進課、畜産課、森林課、畜産総合研究センター、農業大学校、農林総合研究センター】、県土整備部【河川環境課、下水道課、公園緑地課、都市整備局公園緑地課、真間川改修事務所】、水道局管理部【総務企画課】、企業庁管理・工業用水部【施設整備課】(企業庁工業用水部【施設課】)、企業局【業務振興課】》、千葉県環境生活部廃棄物指導課・室蘭市・JESCO、千葉県河川環境教育研究会、千葉県環境教育研究会、(一社)千葉県環境保全協議会、(一社)千葉県環境保全センター、(一財)千葉県環境財団、(一財)千葉県環境財団(ちば植物油燃料利用促進コンソーシアム)、千葉県教育委員会、千葉県教育庁、(一社)千葉県経済協議会、千葉県下水道公社、千葉県ケーブルテレビ協議会、(財)千葉県公害防止協力財団、千葉県国際交流センター、千葉県里山保全整備推進地域協議会、(一社)千葉県産業資源循環協会、千葉県資源リサイクル事業協同組合連合会、千葉県自動車車体整備協同組合、千葉県シェアリングネイチャー協会、(特非)千葉県障害者就労事業振興センター、千葉県浄化槽団体連絡協議会、(一社)千葉県商工会議所連合会、千葉県商工会連合会、千葉県消費者センター、千葉県消費者団体連絡協議会、千葉県生活協同組合連合会、千葉県石けん連絡会、千葉県総合教育センター、

出展、協賛、協力、後援、実行委員などでお世話になった団体一覧

た行 (財)千葉県地域整備協会、千葉県地球温暖化防止活動推進センター・千葉県地球温暖化防止活動推進員、(一社)千葉県トラック協会、千葉県トヨタ販売店グループ・千葉トヨタ自動車(株)、千葉トヨタ自動車(株)、千葉県トヨタ販売店グループ・トヨタ車体(株)・千葉トヨタ自動車(株)、千葉県ネイチャーゲーム協会、(社)千葉県農業協会、(社)千葉県農業協会国際交流部会、(一社)千葉県バス協会、(一社)千葉県冒険遊び場ネットワーク Chiba bol、(財)千葉県まちづくり公社、(一社)千葉県木育コーディネーター協会、千葉県木材青壮年協議会、(一社)千葉県木材振興協会、千葉県木造住宅生産体制強化推進協議会、千葉県ユニセフ協会、千葉県立大網高等学校、千葉県立現代産業科学館、千葉県立小金高校生物部、千葉県立千葉女子高等学校、千葉県立中央博物館、千葉県立長生高等学校《お掃除プロジェクト、サイエンス部、サイエンス部生物班》、千葉県立成田西陵高等学校《園芸科作物専攻、成田日本蕎麦復活チーム》、千葉県立松戸南高等学校《科学研究部、科学研究部 team QUAD-E》、千葉県立茂原高等学校 Team 茂高街塾サーキュラーエコノミー推進 Team、(社)千葉県緑化推進委員会、ちば耕援隊、千葉興業銀行、千葉工業大学《教育センター、南澤研究室、くるくる研究会、新習志野校舎3号館2階化学第4実験研究室、生命科学科分子生態工学研究室、文化環境科学研究会、生命環境科学科【社会環境研究室、生物環境研究室】、CITものづくり【学内未利用資源発掘プロジェクト、学内未利用資源の再生と地域貢献への新提案、学内未利用資源発掘プロジェクト3R lab、再利用を目的とした廃液・廃棄物処理プロジェクト、廃棄食品由来の学内燃料生成プロジェクト、Hyper 竹とんぼプロジェクト、”PCに使われる人”から、”PCを作れる人”になろう!!プロジェクト】》、(財)ちば国際コンベンションビューロー、(特非)ちば里山センター、(株)千葉産直サービス、千葉県《オリンピック・パラリンピック振興課、環境局環境保全部、環境総務課、環境調整課、環境保全課、こども未来部こども企画課、脱炭素推進課、千葉県地球温暖化対策地域協議会(運営主体：千葉市廃棄物対策課)》、(一社)千葉市医師会、千葉市観光協会、千葉市教育委員会、千葉市子ども交流館指定管理者アクティオ(株)、千葉市再資源化事業協同組合、千葉市消防局、(特非)千葉自然学校、千葉市生活文化スポーツ消費生活センター、千葉市脱炭素先行地域推進コンソーシアム、千葉市地球温暖化対策地域協議会、2009 ちばし手づくり環境博覧会実行委員会、千葉シエツ、千葉商科大学、千葉商工会議所、千葉消費者住宅生活協同組合、千葉スズキ販売(株)、ちば生物多様性県民会議、千葉大学《環境系学生有志、(特非)千葉大学環境 ISO 学生委員会、環境サークル、予防医学センター、ロボットサークル、NESO、Sun&CO》、千葉地域交流会、ちば「地球村」、(社)ちばデザインネットワーク、千葉透明骨格標本研究所、千葉都市モノレール(株)、千葉トヨペット(株)、千葉日産自動車(株)、千葉日報社、(特非)千葉まちづくりサポートセンター、千葉三菱コルト自動車販売(株)、ちばの山を愛する家作り、千葉の山を愛する家造りネット、(福)千葉光の村授産園、(特非)千葉フレンドシップ協議会、(有)ちばマガジン、千葉明德中学校・高等学校、(特非)ちば森づくりの会、ちばやち手芸部 orutoco.co、ちば・谷津田フォーラム準備委員会、ちばリサイクル倶楽部、ちばリサイクルネット(千葉県障害者就労事業振興センター)、ちばリサイクルネット(千葉県障害者福祉事業所リサイクル事業ネットワーク協議会)、千葉ロッテマリーンズ、千葉 SW 会、チーム・サムライ、チームピースチャレンジャー、チーム@エコすき、チームもったいない、中日ワークライフバランス推進協議委員会、つかいまわし工房あき、つかいまわし工房・グループ、坪井湿地を復活する会、つやまあきひこ、帝京平成大学、(株)手賀沼せっけん、(有)テクノグリーン、(株)テクノライブ、デジタルパフェ、テレビ朝日、東海ビジョンホールディング(株)、東海ビジョンマーケティング(株)、東京海洋大学、東京ガス(株)、東京ガス(株)千葉支社、東京ガスライフパル千葉(株)、東京家政大学、東京大学生産技術研究所千葉実験所、東京新聞千葉支局、東京電力(株)、東京電力(株)千葉支店、(一社)東京都トラック協会、東京セキスイファミエス(株)千葉支店、東京木工所、東京湾の環境をよくするために行動する会、(有)灯恵商事、東芝テックグループ、東芝テックソリューションサービス(株)、東神ホームサービス(株)、東電環境エンジニアリング(株)、東部産業(株)、(公財)どうぶつ基金、東邦大学《環境研究会、里山応援隊、フードロス削減プロジェクト、理学部化学科地球化学教室、理学部生命圏環境科学科【環境分析化学研究室、齋藤研究室】》、東洋学術研究会、ドクターキッド JP 環境学博士事務所、(株)ドコモ CS、(特非)塗装工事研究会、獨協大学高安健一ゼミ(エシカルチーム)、土鍋 de ごはん倶楽部、利根運河協議会、利根コカ・コーラボトリング(株)、利根ソフトドリンク、豊砂ビーチ・ワークス、(株)トータルメディア研究所、トープロ工業(株)、(特非)ドングリの会

な行 中西ファーム、中山学園高等学校、なか造、ナチュラルクラフト藤、(有)ナチュラルシードネットワーク、なでしこ会、ナナワ工業(有)、なのはな会、なのはな生協、ナファ生活研究所、ナマケモノ倶楽部、(特非)生ごみ減量研究会、成田空港(株)、成田空港活用協議会(千葉県成田空港政策課)、西千葉大学実行委員会、日刊工業新聞千葉支局、日刊スポーツ新聞社、日建リース工業(株)、日産自動車(株)、日本アイ・ピー・エム(株)、日本エコトイ協会、(一社)日本オオカミ協会千葉県支部、(公財)日本環境協会エコマーク事務局、日本経済新聞社千葉支局、(株)日本コンベンションセンター、(公財)日本財団、日本サーナ(株)、日本森林瑜伽養生館、(特非)日本総合医学会、日本創電社、(公益)日本生態系協会、日本大学《生産工学部、環境安全工学科、環境安全工学科古川研究室、土木工学科環境衛生工学 / 微生物処理工学研究室、理工学部土木工学科環境系研究室》、日本テクノマテリアル(株)、日本電信電話(株)、(特非)日本ファイバーリサイクル連帯協議会、(一社)日本プラスチック食品容器工業会、日本ボーイスカウト千葉県連盟、日本水環境学会水環境・教育研究委員会(WEE21)、(財)日本盲導犬協会、(一社)日本 WPA、にわとり村、(株)ニュージェック、ネクストエナジー・アンド・リソース(株)、(特非)ネットワークハーモニー、(株)根本建材、(国研)農業・食品産業技術総合研究機構 農村工学研究部門、軒先珈琲、ノムエコ!活動推進委員会

出展、協賛、協力、後援、実行委員などでお世話になった団体一覧

は行 (福)白梅会童里夢工房、(同)ハハ、ハトのマークのひっこし専門、ハトのマークの引越専門組合、ハトのマークの引越便、(株)花島産業、花見川区バリアフリーに災害を考える会、(株)パートナー、ハーブアイランド・ハーブガーデン、(特非)ハロハロ、パワーシフトキャンペーン、(特非)ピオスの会、(株)ビスメディア、日立製作所(株)、日之出建設(株)、ピーナツクラブ西千葉、(株)ファインズ、ファミリーサービスエイコー(株)、フィールドミュージアム・三番瀬の会、フェアトレードちば、フジサンケイビジネスアイ千葉、富士石油(株)袖ヶ浦製油所、(株)フジタ、(株)フジタ高環境エンジニアリング・グループ、富士通(株)、富士通エフ・オー・エム(株)、ふなばしおもちゃの病院、船橋市クリーン推進課、船橋市有価物回収協同組合、船橋地球市民クラブ、船橋ほたる観察会、(株)布良、ふらのわ会、フラワーショップ愛花、フラワーセラピー研究会千葉、ふらりネット CHIBA、古河電気工業(株)千葉事業所、ふるさと農園(有)ヤマ吉、ふれあいハウス、フレンドベーカー、プレシヤスプラスチック開智、プロジェクト WET、プロジェクト WET ちば、風呂の前里山保存会、(株)バイエフエム、ペイタウン・グリーンサム、ペイタウン自治会連合会、ペイタウン中年バンド、ペイタウンフォーラム実行委員会、ベストスマイルチェーン本部、ペんてる(株)、房総浮世絵美術館、房総ガス協議会、房総ガス協議会環境部会、房総炭工房たけさと、放射線医学総合研究所、北越紀州製紙(株)関東工場、(株)北辰産業、北総クルベジ、北総里山倶楽部、北総鉄道(株)、北総の森・巨樹古木研究会、星のマルシェ、ホテル工学研究所 - ほたる屋 -、(一社)北海道バイオエコノミー研究所、ホテルグリーンタワー幕張、ホテルスプリングス幕張、ホテルニューオータニ幕張、ホテルフランス、(株)ポディクレイ、ポラス竹炭研究所、(株)ホンダカーズ千葉、本田技研工業(株)、(株)ホンダ千葉二輪、ポンピ〜シャカ サウンドクラブ

ま行 (福)まあるい広場、毎日新聞社千葉支局、舞浜三丁目自治会、前向き闘病の会、幕張新都心まちづくり協議会、マクハリドット TV、幕張プリンスホテル、幕張ペイタウン自治会連合会、幕張ペイタウンにエコパークをつくる会、(株)幕張メッセ、幕張メディアアソシエイツ、(特非)まちづくりサポートひと・まち倶楽部、まつど雨水の会、まつど環境ネットワーク、松戸市、マックス建材(株)、(株)丸文製作所、丸善石油化学(株)千葉工場、ミサワホーム(株)営業本部千葉支社、(株)ミサワホーム総合研究所、(特非)水辺散歩、三井化学(株)市原工場、三井住友海上アドバンスクラブ千葉支部・千葉北支部、三井不動産(株)WBG オフィス、三菱鉛筆千葉県販売(株)、三菱鉛筆東京販売(株)千葉営業所、みどり産業(株)、NPO みどりのネットワーク千葉、みなみ千葉建設共同組合、ミュージックカフェ、(特非)みらい工房、(株)ミラクル、(株)三和製作所、NPO みんなの森の村、(特非)みんなの森の村《動く竹人形の店、フォレストパーク》、昔着物上(そら)、(株)明光商会、明治大学《商学部水野勝之ゼミナール、ボランティアサークル SHIP》、明治乳業(株)、メジカラネット、(特非)メダカの学校千葉支部、(株)モキ製作所、本山商事、(特非)もったいねえよいちはら、もみから食楽部、森の紙しばい屋、森のスポーツパチンコ協会、(一社)もりびと

や行 (資)谷貝織工所、やかましむら、屋久島イベント実行委員会、安田火災海上保険(株)、ヤスミン合資会社、八街市、八千代エンジニアリング(株)、NPO 八千代オイコス、八千代市ほたるの里づくり実行委員会、(一社)やちよ未来エネルギー、谷当グリーンクラブ、(有)ヤマ吉、(有)山口商店、(株)山櫻、山崎製パン(株)千葉工場、(株)ヤマダイ、(株)ヤマト、有機ネットちば、(農)有機農法菱田の会、(株)ユニソル、ユニラムジャパン(株)、夢のまちなねっと、ゆめ半島千葉国体実行委員会・ゆめ半島千葉大会実行委員会、ゆりの木商店街、養生健身法天地の会、(株)横山喜惣治商店、四街道市役所、読売新聞社千葉支局

ら行 ライオン(株)千葉工場、ライブレストランウッドストック、楽市楽座、楽働会、(株)ラシュラン、リコーダーアースブリッジ、リサイクルしま専科実行委員会、リサイクルブティック「上」、りユース封筒「夢〜」推進委員会(動夢企画)、琉球センターどうたち、ループウイング(株)、レストラン風楽、(株)レールウェイエンジニアリング、ログ工房とつとの森

わ行 (有)ワイビーシー、(農)和郷園、わら工房山の道、割り箸リサイクルプロジェクト、ワーカースコレクション風車、ワンアップアドシステム(株)

A-Z 行 AGC 硝子建材(株)、AGC エンジニアリング(株)、ANESAKI ACADEMY、BSC 実行委員会、(同)BULA Earth、CAPIC、CED 市民ネットワーク(特非)アースティ・エブリティ、clecle、CO2 ダイエットちば行動委員会、(株)D&P メディア、(株)E プラン、EARTH CITIZEN TOKYO、ELCo の会、ESD 活動支援センター、GasTech、G. F. C.、GMM テック(株)、GOGO TOURS PTY LTD、GONET (ごみゼロネットちば 21)、Green Turtles、HolyTech、IRIS、JA 全農千葉、JAVA、(一社)JBRC、JENZ (同)、(特非)JFSA (日本ファイバーリサイクル連帯協議会)、JFE スチール(株)東日本製鉄所、JICA 海外協力隊環境教育 OV 会、JICA 東京、JR 東日本千葉支社、leafbook、mam、(株)LIXIL LWT 千葉支社、Moon child、NACS 千葉分科会 NEG/MaMA、学生団体 NextInbaMeeting、NEXT GENERATION FOOD、NHK 千葉放送局、NTT 移動通信(株)、NTT 東日本(株)千葉支店、(株)Ossa 編集室、Palette、PBL スクール千葉、POI、PRIYO handicrafts、PURE MOUNTAIN、PW プラス ONE、Radhika Japan(ラディカジャパン)、SaToYaMa よくし隊、(株)SnapDragon、(株)Sugar Bubble Japan、(特非)SUNBUCEDAR (サンブダガー)、TEA-NET、Teen for 3.11、(特非)TINA、(特非)U-PROJECT、(株)wash-plus、(株)WEDGE、(一財)WNI 気象文化創造センター、Wood Beel、WWF ジャパン